

---

# 檜原市新本庁舎建設基本計画

(資料編)

# 目次

<b>第1章 檀原市公共施設等総合管理計画との整合</b> .....	<b>1</b>
1.1. 関連計画との整合.....	1
1.2. 対象施設.....	2
1.3. 計画期間.....	2
1.4. 対策の優先順位の考え方.....	2
1.5. 個別施設の状態等.....	3
1.6. 対策内容と実施時期.....	4
1.6.1. 対策内容.....	4
1.6.2. 対策時期.....	4
1.7. 対策費用.....	5
<b>第2章 市民・職員意見の収集</b> .....	<b>6</b>
2.1. 檀原市役所本庁舎建替えについてのアンケート調査.....	6
2.1.1. アンケート調査内容.....	6
2.1.2. アンケート調査の結果.....	12
2.1.3. 市民アンケート結果のまとめ.....	22
2.2. 檀原市新本庁舎建設市民ワークショップ.....	23
2.2.1. ワークショップ実施概要.....	23
2.2.2. 第1回ワークショップの概要.....	24
2.2.3. 第1回ワークショップの実施結果.....	25
2.2.4. 第2回ワークショップの概要.....	35
2.2.5. 第2回ワークショップの実施結果.....	36
2.3. 檀原市新本庁舎建設基本計画に係る庁内調査.....	46
2.3.1. 庁内調査の結果.....	46
2.3.2. 庁内調査結果のまとめ.....	55
2.4. 檀原市新本庁舎建設基本計画（案）パブリックコメント.....	56
2.4.1. 実施概要.....	56
2.4.2. 結果概要.....	59
2.4.3. 意見内容と回答.....	60
<b>第3章 モデルプラン</b> .....	<b>75</b>
3.1. 地上7階建て案.....	75
3.2. 地上6階建て案.....	76

# 第1章 橿原市公共施設等総合管理計画との整合

## 1.1. 関連計画との整合

橿原市新本庁舎建設基本計画は、平成 28 年 9 月に策定された橿原市公共施設等総合管理計画との整合を図る必要があります。

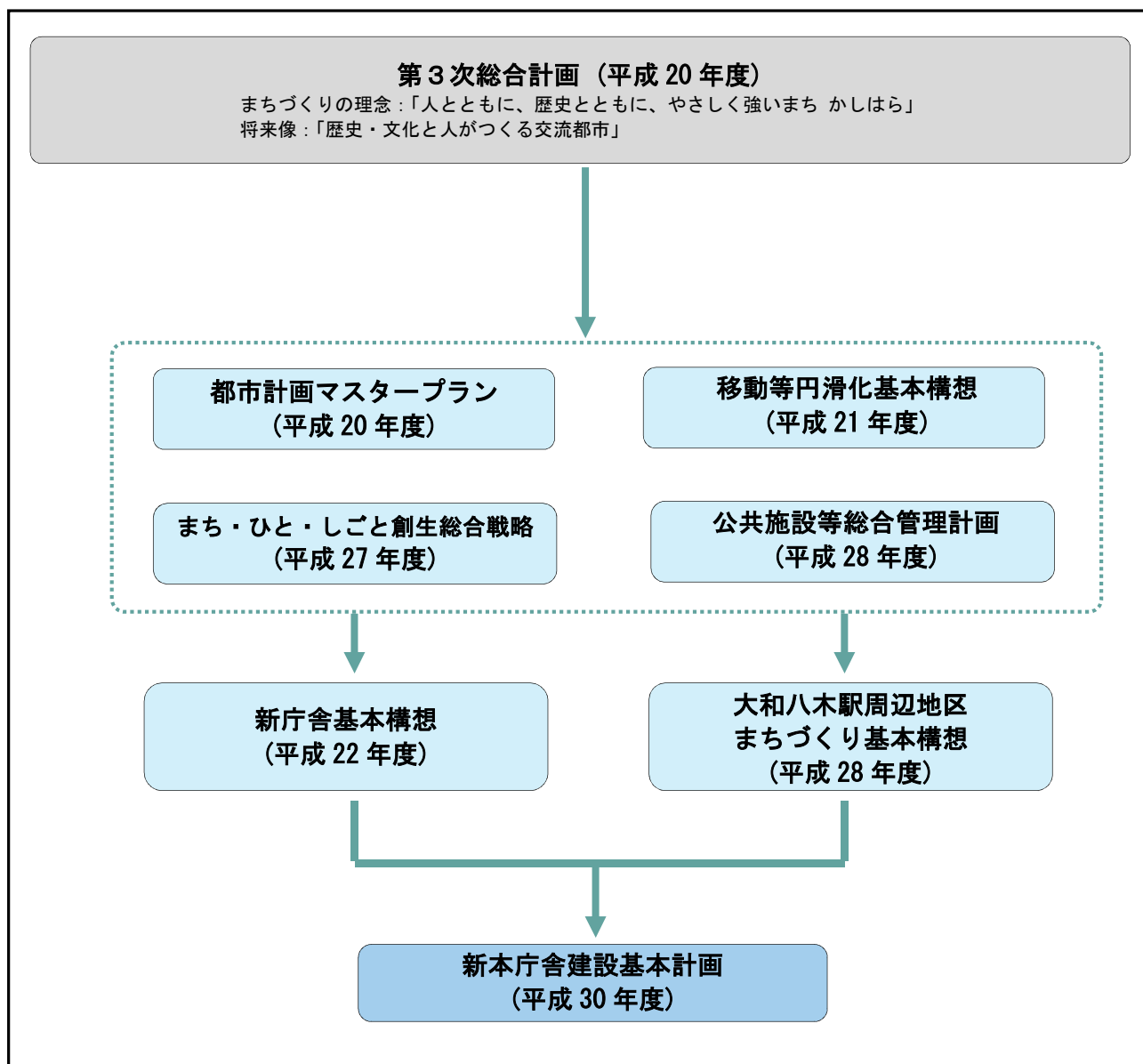


図 1-1 : 関連計画との関係性

## 1.2. 対象施設

樫原市公共施設等総合管理計画における行政系施設において、「庁舎等」として以下の4施設があります。この4施設のうち、本庁舎を計画の対象施設とします。

表 1-1：庁舎等施設一覧

施設分類	施設名	所在	主な棟の建築年度	延床面積(m <sup>2</sup> )	施設配置形態	管理運営形態	備考
庁舎等	本庁舎	八木町 1-1-18	1960	7,338.37	-	直営	耐震補強未実施 (最小 Is 値 0.225)
	教育委員会 事務所	小房町 11-5	1995	793.80	複合	直営	
	保健福祉センター (事務所)	畝傍町 9-1	1977	2,439.76	複合	直営	
	クリーンセンター 一かしはら (収集)	川西町 1038-2	1977	1,950.66	複合	直営	

※樫原市公共施設等総合管理計画から抜粋

※本庁舎の延床面積は倉庫、駐車場等を含む

## 1.3. 計画期間

計画期間については、建替にかかる事業スケジュールに合わせて、平成 30 年度（2018 年度）から平成 36 年度（2024 年度）までの 7 年間とします。

## 1.4. 対策の優先順位の考え方

本庁舎は行政系施設の中で最も重要な施設となっています。また、耐震性能を満たしておらず、築後 58 年が経過し施設の老朽化が進んでいることから、早急な対応が求められています。

## 1.5. 個別施設の状態等

昭和 36 年（1961 年）に建設された本庁舎は、老朽化や耐震性の不足、庁舎の分散による利便性の低下等の課題を抱えており、建て替えの必要性が高まっています。

表 1-2：庁舎が抱える課題

<p>(1) 社会情勢の変化や市民ニーズへの対応</p>	<p>全国的な少子高齢化の進展による人口減少社会の到来に加え、グローバル化が進展するなどの社会経済状況の急激な変化により、市民ニーズが多様化・高度化する状況において、<u>効率的なサービスの提供やコストの縮減</u>が行政運営に求められている。これらを踏まえ、これからの本庁舎においては、<u>長寿命化・省エネ・環境・ユニバーサルデザイン・利便性・コスト縮減</u>といったキーワードに配慮した整備が求められている。</p>
<p>(2) 災害対応活動拠点としての機能の確保</p>	<p>現本庁舎は、<u>新耐震設計基準（昭和 56 年建築基準法の改正に伴う耐震基準）</u>を満たしておらず、<u>中規模地震以上の地震発生時には倒壊し、または崩壊する可能性がある</u>。来る大規模地震に備え、市民の安心・安全な暮らしを支えるためにも、<u>新本庁舎には、災害対策本部や受援窓口などを備えた災害対応活動拠点としての機能を充足した整備が求められている</u>。</p> <p>なお、現本庁舎については、平成 17 年 2 月に耐震診断を実施し、長寿命化を図るべく耐震補強の実施に向けて検討を行ったが、相当数の耐震壁を設置する必要があり、<u>効率性・経済性などの判断から断念した経緯がある</u>。</p>
<p>(3) 庁舎本来の機能の向上</p>	<p>本庁舎は、各執務室が狭あいであったために事務事業の効率の妨げになっていたが、分庁舎が供用開始したことにより、現時点における本庁舎の執務室の狭あい問題は解消されている。しかしながら、建物自体の老朽化が著しく、耐震性能不足の本庁舎においては、引き続き、相当数の職員が業務を執り行い、市民の来庁がある現状である。そのようなことから、<u>一人ひとりが安全で安心して利用することができるよう、環境の改善が求められている</u>。</p> <p>また、本市のこれまでの行政機能は、本庁舎、保健福祉センター、かしはら万葉ホールなどに分散されていた。分庁舎の供用に伴い、総合窓口機能などある一定の集約化が図られたところであるが、<u>今後もより一層の市民サービスと利便性の向上を図るためにも、行政機能の集約化を促進することが求められている</u>。</p>

## 1.6. 対策内容と実施時期

### 1.6.1. 対策内容

平成 22 年度に策定した新庁舎基本構想では、「市民自治の拠点づくり」を実現するために 6 つの基本理念を設定しました。それらを踏まえ、ナビプラザ及び分庁舎、新本庁舎が一体となって市役所の機能を担うことを設定した下記の新本庁舎整備のコンセプトに基づき、本庁舎の建替えを早急に進めていきます。

#### 新本庁舎整備のコンセプト

1. 耐震性能を有し、災害対応活動拠点となる庁舎
2. 市民に開かれた庁舎
3. 施設のコンパクト化と環境配慮により、建設コストと維持管理コストを可能な限り抑えた庁舎
4. 将来の人口や職員数を踏まえ、社会状況の変化に柔軟に対応できる構造の庁舎
5. だれもが安心快適に利用できるユニバーサルデザイン庁舎

### 1.6.2. 対策時期

建替にかかる事業スケジュールは以下の通りです。

平成 30 年度中に基本計画を策定し、平成 31 年度に設計業務に着手します。建設工事を平成 34 年度末の完了とし、平成 35 年度からの供用開始を目指します。その後、既存庁舎の解体や、外構整備を実施し、平成 36 年度末の事業完了を目標とします。

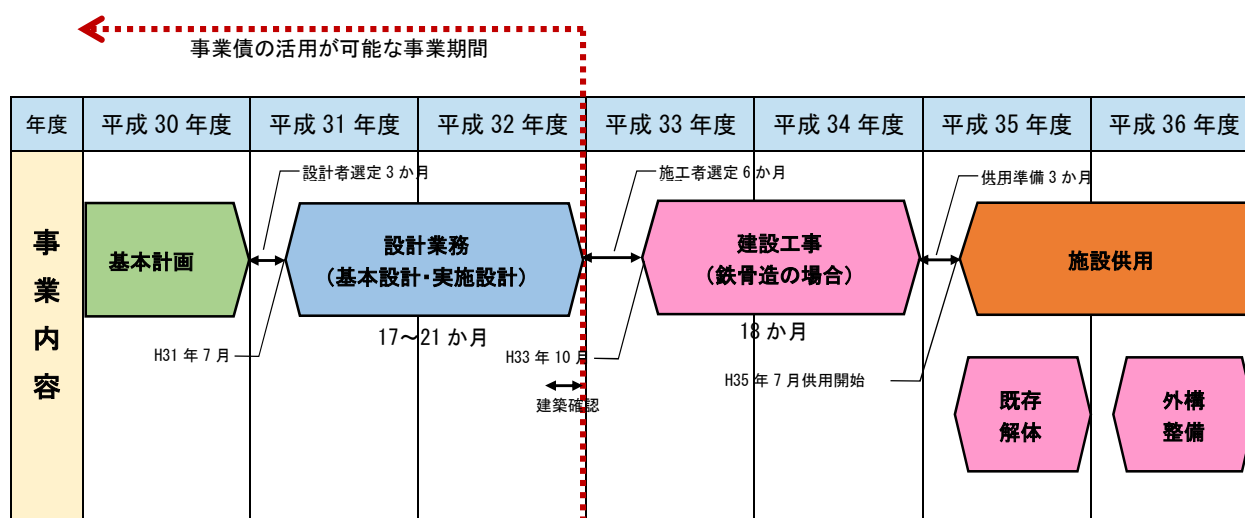


図 1-2 : 事業スケジュール

## 1.7. 対策費用

建替事業にかかる費用の内訳は以下の通りです。

項目	金額（千円）	備考
本庁舎本体工事費	5,175,000	延床面積：11,500㎡、支持杭、免震構造
既存解体工事費	336,000	本館、南館、西館、西棟、東棟
外構整備費	435,000	
埋蔵文化財調査費	88,000	
設計・監理・調査委託費	225,000	
什器・備品	316,000	
総事業費	6,575,000	消費税含む

※用地買収費、基本計画策定業務委託料等は含まれていません。

※ボーリング調査等の結果により、基礎杭や地盤改良等の工事費が別途加算される場合があります。







### Ⅲ. 建替え後の市役所本庁舎に求めることについてお伺いします。

問5. 建替え後の市役所本庁舎に、あなたが求めるもの、重要視することは何ですか。次の中から5つまで選んで、番号を○で囲んでください。

1. 災害時に被災状況の把握、市民の救援を速やかに確実にできる防災拠点であること。
2. 街のシンボルとなるような斬新なデザイン、橿原の歴史風土と調和した温もりある庁舎デザインなど、景観等に配慮された優れたデザインであること。
3. 各種イベント等の開催、人々が集い憩えるスペースを有し、市民の多様な交流や賑わいを創り出す庁舎であること。
4. 太陽光発電や、雨水の再利用、自然採光や自然換気など地球環境にやさしい庁舎であること。
5. 年齢・性別・障がいの有無などにかかわらず、あらゆる人に配慮され、快適で、わかりやすく使いやすい庁舎であること。
6. 市民及び各種市民団体、NPO等の情報発信の場や、会議室を設けるなど、市民と行政の協働を進めるまちを実現する拠点としての庁舎であること。
7. 建設・維持管理のコストを抑えること。
8. その他 ( )

問6. 市役所本庁舎の建替えにあたり、加えたい機能(施設)はありますか。次の中から5つまで選んで、番号を○で囲んでください。

1. イベント開催ができる屋外広場
2. 市民が語り、憩える屋外広場
3. イベント開催ができる屋内スペース
4. 市民が語り、憩える屋内スペース
5. 喫茶コーナー(自販機などを設置)
6. 子育て支援スペース(キッズコーナー、親同士の交流の場)
7. 発表・セミナー・交流などの活動ができるスペース
8. 市民ギャラリー等展示コーナー
9. 観光インフォメーションコーナー
10. 特に加えたい機能はない
11. その他 ( )

#### IV. あなたご自身のことについてお伺いします。

問7. あなたの性別について、あてはまる番号を○で囲んでください。

1. 男性
2. 女性

問8. あなたの年齢について、あてはまる番号を○で囲んでください。

1. 20歳未満
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代
8. 80歳以上

問9. あなたの職業について、あてはまる番号を○で囲んでください。

1. 会社員
2. 自営業
3. パート・アルバイト
4. 公務員
5. 専業主婦・専業主夫
6. 学生
7. 無職
8. その他 ( )

問10. あなたのご住所地の町名を教えてください。(番地等は記入しないでください。)

檀原市 \_\_\_\_\_ 町



## 市役所本庁舎建替えと分庁舎について

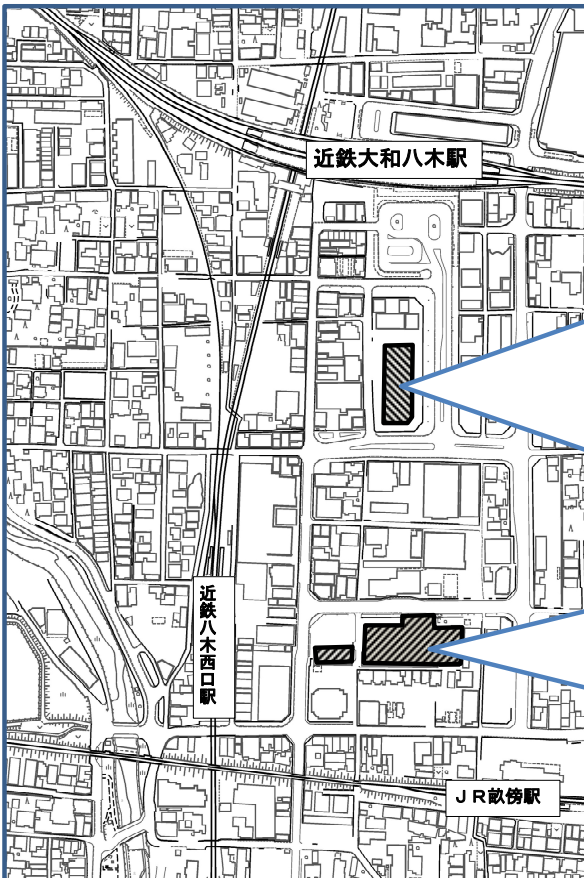
### ①本庁舎建替え（当アンケート調査の対象）

八木町1丁目に位置する市役所本庁舎は昭和36年竣工で、耐震性能が不足しているため、現在の場所での建替えを検討しています。建替え後の本庁舎は、災害発生時には災害復旧活動の拠点として機能するように、十分な耐震性能を備えた施設となります。また、本庁舎の行政機能・議会機能と、かしはら万葉ホール教育委員会機能を建替え後の本庁舎に集約することを予定しています。市民の皆様の生活に身近な市役所窓口は、下記②でご説明する分庁舎に作られることとなりますが、当アンケート調査結果や皆様のご意見を参考に、魅力的なまちづくりに貢献する本庁舎を目指します。

### ②分庁舎（平成30年2月13日（火）庁舎供用開始予定）

現在、近鉄大和八木駅南側の市有地において庁舎、観光施設等からなる複合施設を整備中です。

庁舎には、住民票、戸籍、印鑑登録、年金、税金、健康保険、子育て、福祉など皆様の生活に身近な窓口機能を集約するとともに、1階には総合窓口を設置し、各種証明書交付の集約や、結婚、引越し、子育てなどのライフイベントに関連する手続きの簡略化を図ります。また、宿泊施設、コンベンション施設、展望施設、飲食施設、観光振興支援施設、交流スペース等を整備し、観光拠点機能の充実と人々の交流による地域活性化を図ります。



**② 分庁舎（複合施設）**

平成30年2月13日（火）庁舎供用開始予定

**【利便性向上】**

- ☆市民の皆様の生活に身近な窓口機能を集約。
- ☆総合窓口を設置。

**【観光拠点機能充実・交流による地域活性化】**

- ☆宿泊施設、コンベンション施設、展望施設、飲食施設、観光振興支援施設、交流スペース等が整備されます。

1階～4階	庁舎・交流スペース 飲食施設、観光振興支援施設 コンベンション施設等
5階～10階	宿泊施設・展望施設等

**① 本庁舎建替え**

当アンケート調査の対象です。

- ★災害復旧活動の拠点。
- ★行政機能、議会機能、教育委員会機能を集約。
- ★アンケート調査結果や皆様のご意見を参考に魅力的なまちづくりに貢献する本庁舎を目指します。

## 2.1.2. アンケート調査の結果

アンケートの配布数と回収数は次の通りです。

回収／配布： 848／2000 世帯（回収率：42.4%）

市民アンケート調査の結果は、回収した全数の「全数集計」と、問2において分庁舎（ミグランス）に配置した機能に関する内容だけを回答頂いた世帯を除く「抜粋集計」の2パターンについて分析しました。抜粋集計からは、今後も新本庁舎を利用される方の傾向がわかります。その集計対象数は205世帯、全回答848世帯の24.2%に当たります。

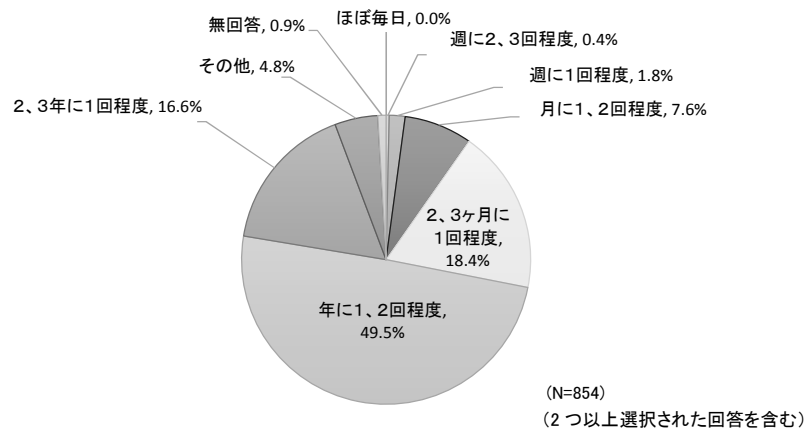
なお、各グラフの数字は少数第2位で四捨五入しているため、合計100%にならない場合があります。

### I. 市役所(※)のご利用状況についてお伺いします。

※問1、問2では、市役所本庁舎だけではなく、保健福祉センター、教育委員会(かしはら万葉ホール)、権原市観光交流センター(かしはらナビプラザ)も含めた市役所のご利用状況についてお伺いします。

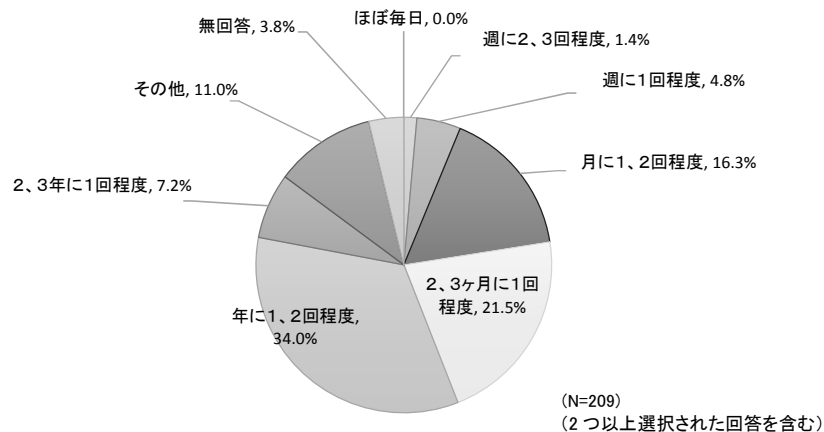
問1. 過去おおむね3年間で、市役所に来られた頻度はどれくらいでしたか。次の中から1つだけ選んで、番号を○で囲んでください。

#### 全数集計



市役所庁舎を訪れる頻度は、「年に1、2回程度」が49.5%と最も高く、次いで「2、3ヶ月に1回程度」が18.4%となりました。

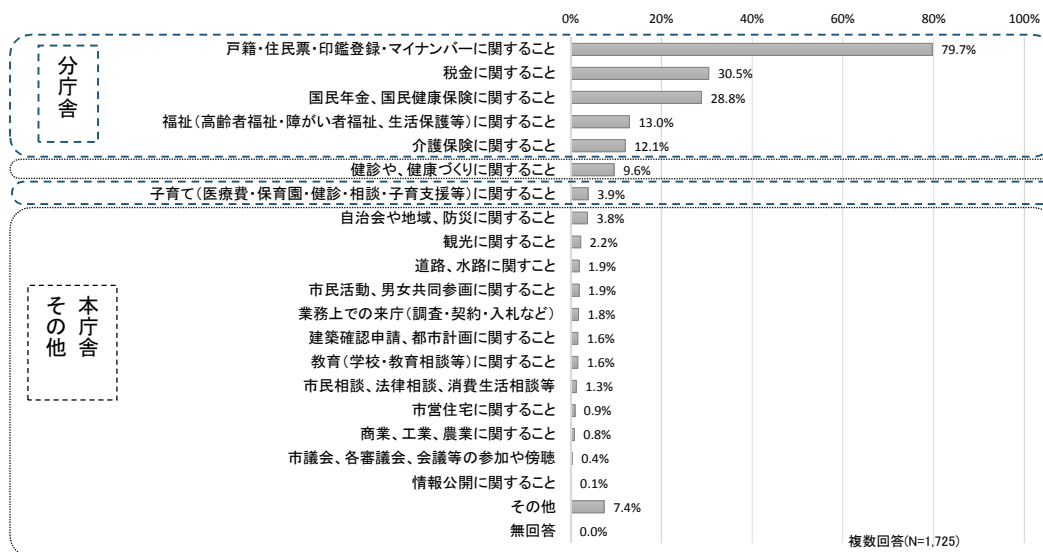
#### 抜粋集計



抜粋集計は全数集計に比べ、「週に1回程度」、「月に1、2回程度」、「2、3ヶ月に1回程度」の回答の割合が高くなりました。

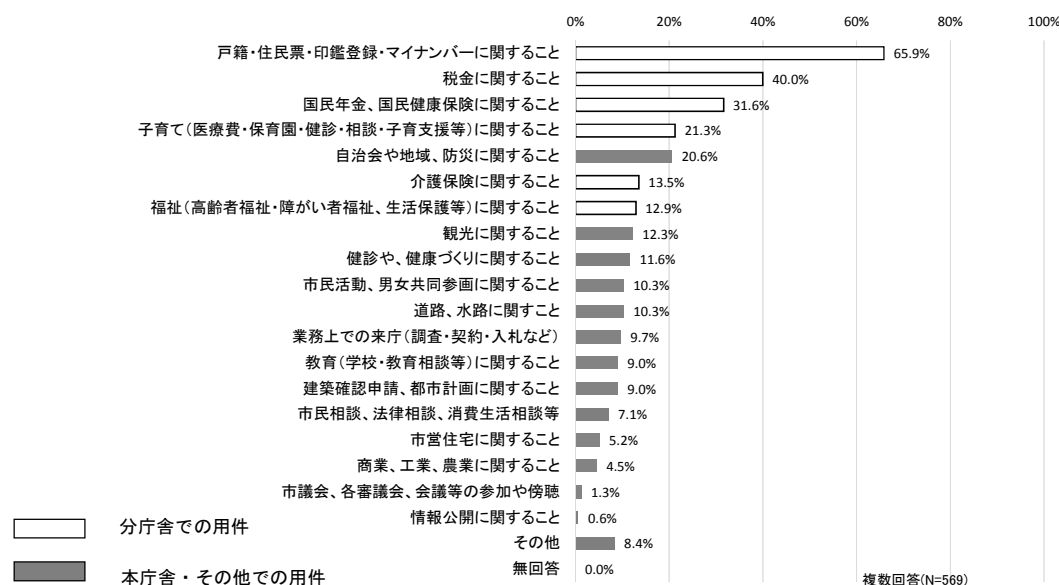
問2. 過去おおむね3年間で、市役所に来られたときのご用件について、次の中から当てはまるもの全てを選んで、番号を○で囲んでください。(複数回答可)

全数集計



市役所庁舎を訪れたときの用件は、上位5番までが戸籍・住民票、税金、保険・福祉等の分庁舎の機能に係るものでした。新本庁舎の機能に係る用件のうち、最も多い「健診や、健康づくりに関すること」が9.6%、次いで、「自治会や地域、防災に関すること」が3.8%、「観光に関すること」が2.2%、これら以外の用件は全て2%以下でした。

抜粋集計

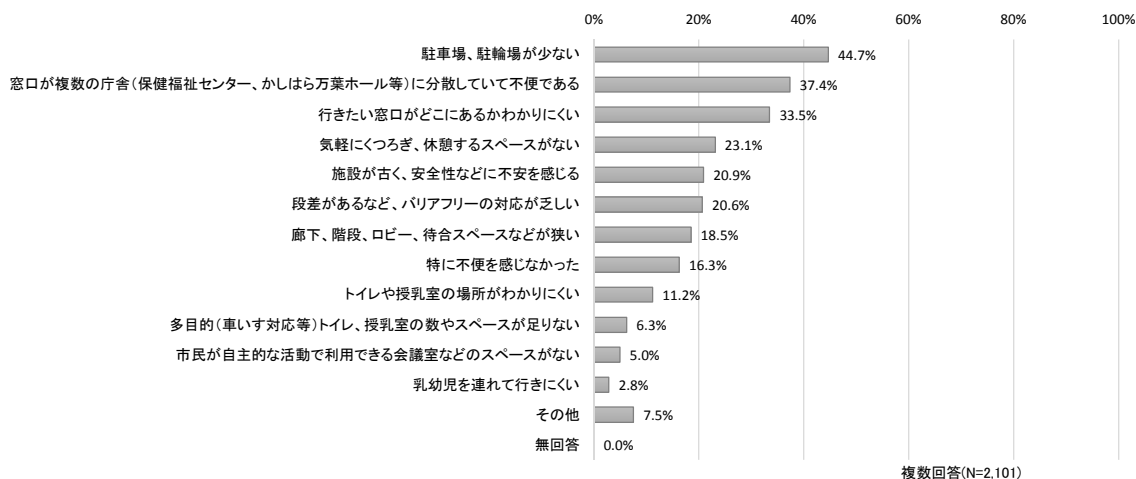


上位の傾向は全数集計と大きく変わりませんが、全数集計において2%以下であった項目の割合は高くなり、「市議会、各審議会、会議等の参加や傍聴」、「情報公開に関すること」以外の項目では4.5%を超えています。

## II. 現在の市役所本庁舎に来られたときのことについてお伺いします。

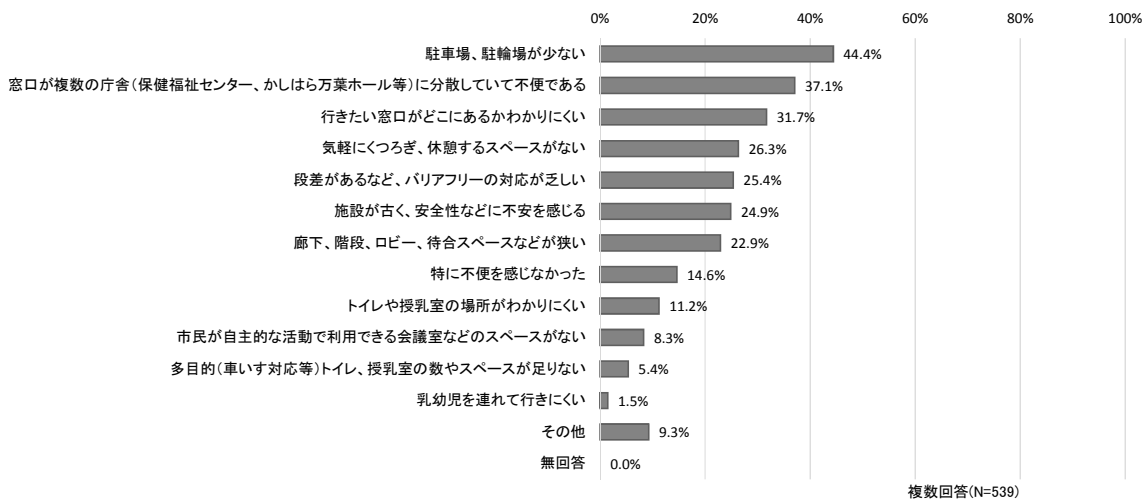
問3. 現在の市役所本庁舎に来られた際、施設面でご不満・ご不便を感じられたことについて、次の中から当てはまるもの全てを選んで、番号を○で囲んでください。(複数回答可)

### 全数集計



施設面での不満・不便に関する項目では、「駐車場・駐輪場が少ない」、「窓口が複数の庁舎に分散して不便である」、「行きたい窓口がどこにあるかわかりにくい」の3項目が30%を超える結果でした。このほか、「その他」として回答いただいたうちの約3割が「庁舎が暗い」ことをあげていました。

### 抜粋集計

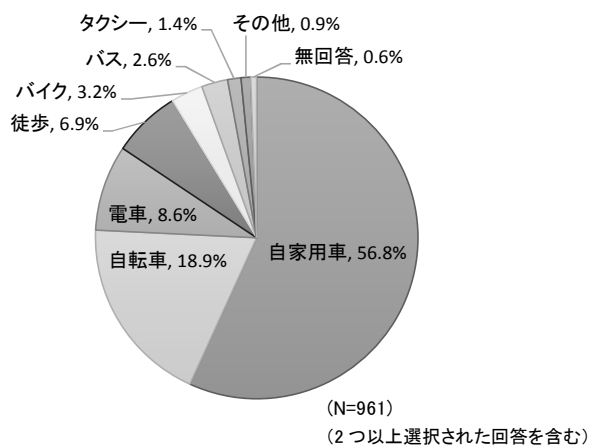


全体の傾向は、全数集計と同様ですが、「段差があるなど、バリアフリーの対応が乏しい」、「施設が古く、安全性などに不安を感じる」、「廊下、階段、ロビー、待合スペースなどが狭い」の3項目については、割合が5%程度高くなりました。



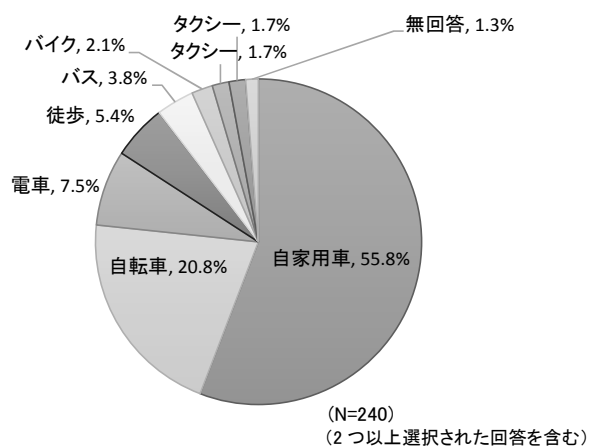
問4. 現在の市役所本庁舎に来られる際、主にどのような交通手段を利用しますか。次の中から1つだけ選んで番号を○で  
囲んでください。

#### 全数集計



市役所本庁舎へ訪れる際の交通手段は、「自家用車」が最も多く 56.8%、次いで「自転車」が 18.9%、他の交通手段は 10%以下となりました。

#### 抜粋集計

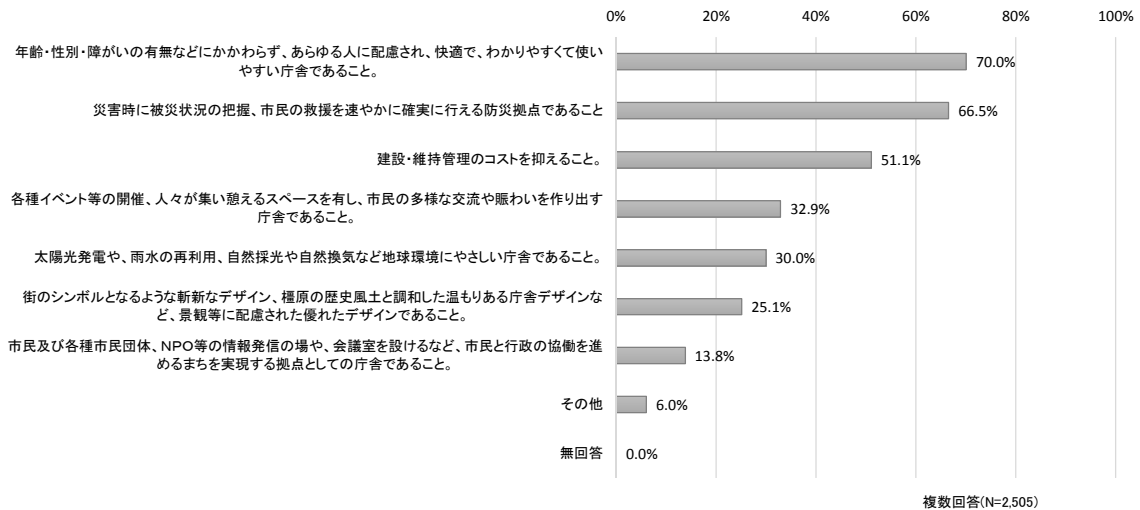


全数集計とほぼ同じ傾向がみられました。

### Ⅲ. 建替え後の市役所本庁舎に求めることについてお伺いします

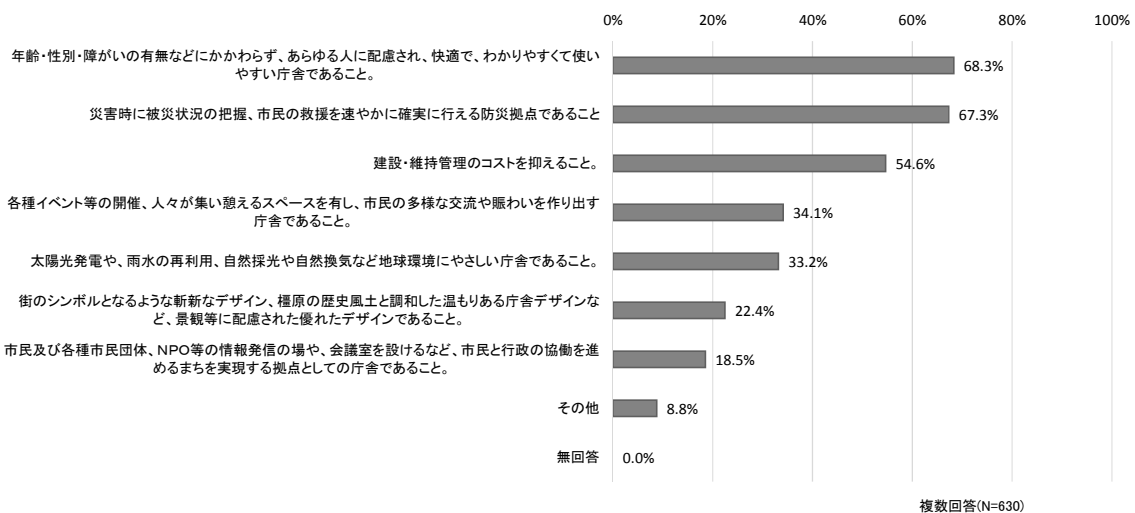
問5. 建替え後の市役所本庁舎に、あなたが求めるもの、重要視することは何ですか。次の中から5つまで選んで、番号を○で囲んでください。(複数回答可)

#### 全数集計



本庁舎に求めるもの、重要視することとして50%を超える回答があった項目は、来訪者への配慮、防災拠点機能、コスト縮減に関する項目でした。また、市民自治の拠点機能については、市民の憩い・交流・賑わいに関する項目を選択した割合が32.9%、情報発信の場・会議室の設置に関する項目を選択した割合が13.8%でした。

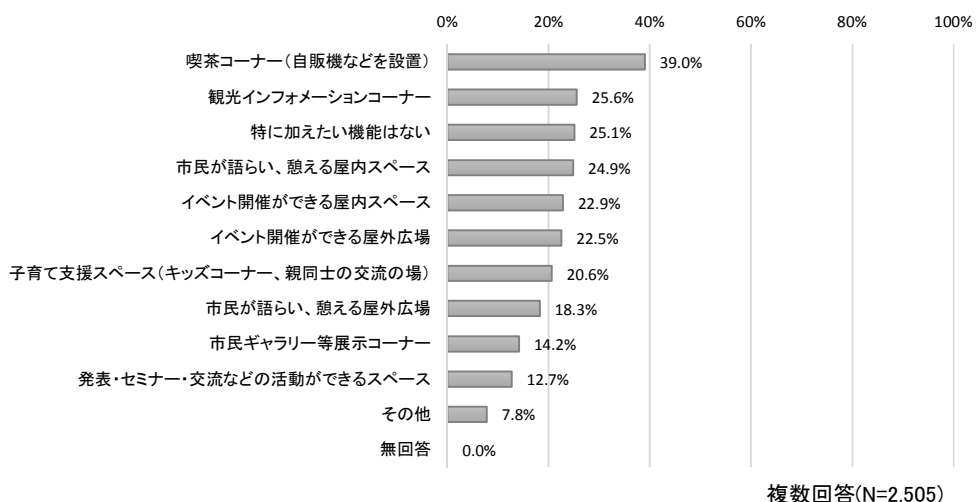
#### 抜粋集計



全数集計とほぼ同じ傾向がみられました。

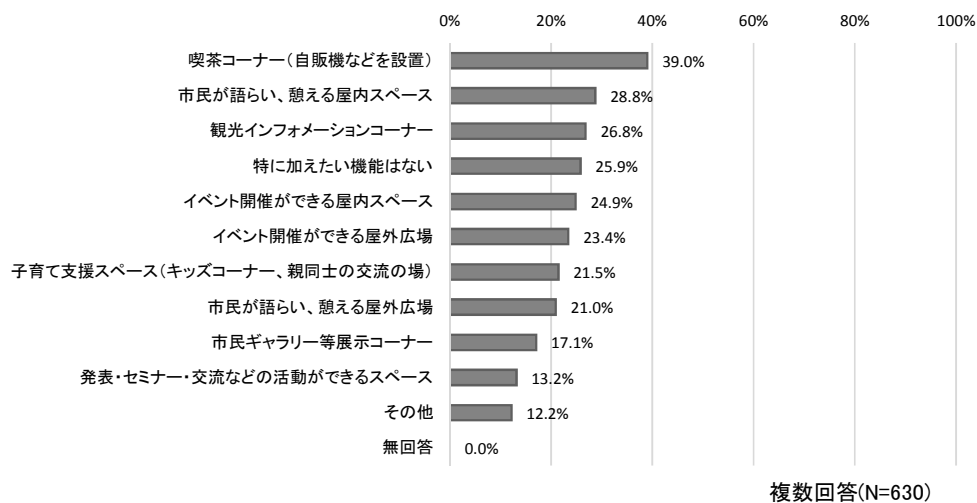
問6. 市役所本庁舎の建替えにあたり、加えたい機能(施設)はありますか。次の中から5つまで選んで、番号を○で囲んでください。(複数回答可)

**全数集計**



新本庁舎に加えたい機能(施設)としては、「喫茶コーナー(自販機などを設置)」の39%が最も多く、他の項目は30%~10%の間に分散する結果になりました。

**抜粋集計**



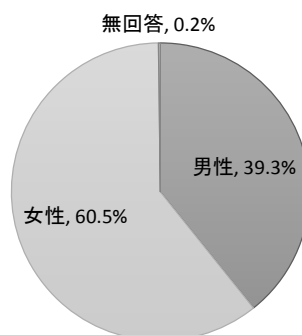
全数集計に比べ、「市民が語らい、憩える屋内スペース」の順位が上がりました。

---

#### IV. あなたご自身のことについてお伺いします

問7. あなたの性別について、あてはまる番号を○で囲んでください。

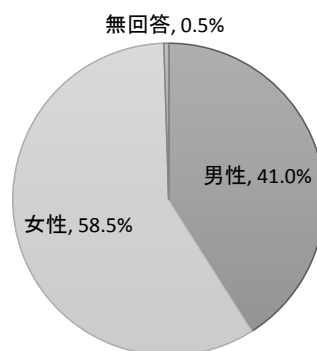
##### 全数集計



(N=848)

アンケートの回答者は「女性」の方が多い結果となりました。

##### 抜粋集計

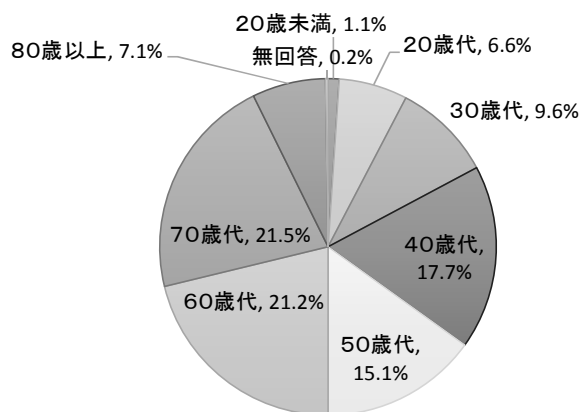


(N=205)

全数集計とほぼ同じ傾向がみられました。

問8. あなたの年齢について、あてはまる番号を○で囲んでください。

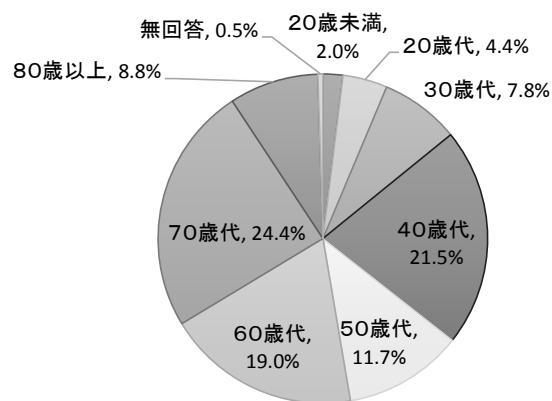
**全数集計**



(N=848)

60歳以上が約半数を占める結果となりました。

**抜粋集計**

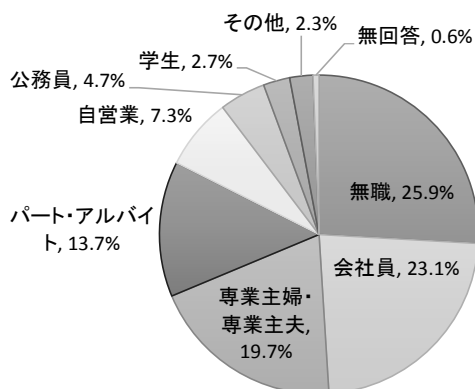


(N=205)

全数集計に比べ、60歳以上の方の割合が多くなります。

問9. あなたの職業について、あてはまる番号を○で囲んでください。(※2 つ以上回答された複数回答を含む)

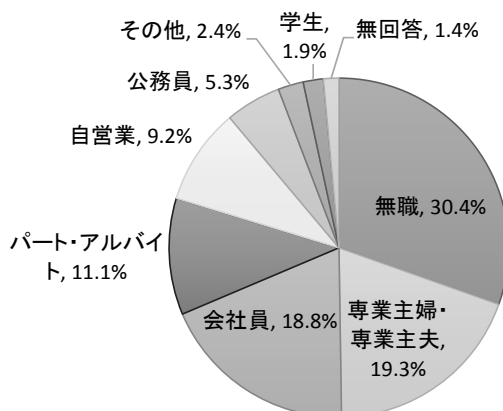
### 全数集計



(N=853)  
(2 つ以上選択された回答を含む)

無職、会社員を合わせ、約半数を占める結果となりました。

### 抜粋集計

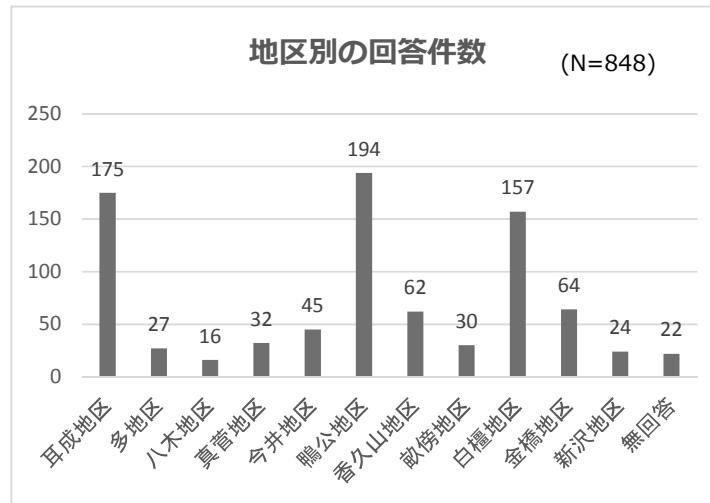


(N=207)  
(2 つ以上選択された回答を含む)

抜粋集計は全数集計に比べ、会社員の割合が減り、無職の割合が増えました。

問10. あなたのご住所地の町名を教えてください。

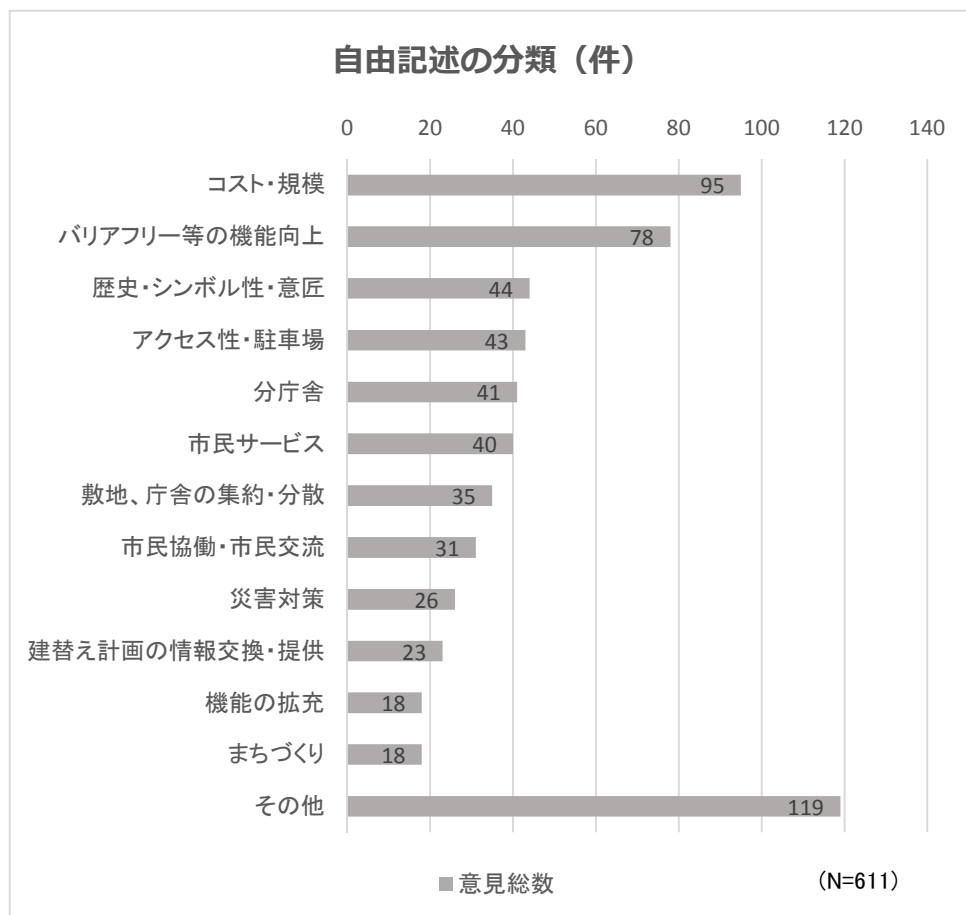
全数集計のみ



回答いただいた町名を地区ごとに分類しました。

問11. 市庁舎の建替えにあたり、ご意見・ご提案がありましたらご自由に記入してください。

全数集計のみ



---

### 2.1.3. 市民アンケート結果のまとめ

- ① 市役所庁舎を訪れる頻度については「年に1, 2回程度」以下の回答が約7割、「2, 3ヶ月に1回程度」が約2割、「月に1, 2回」以上の回答が約1割となりました。  
また、抜粋集計においては、市役所へ訪れる頻度が高くなる傾向がみられました。
  - ② 市役所本庁舎の施設面の不満・不便については、駐車場・駐輪場の不足、窓口の分散や分かりにくさ、くつろぎ・休憩するスペースがない、に対する回答が多くなりました。
  - ③ 本庁舎を訪れる際の交通手段は、「自家用車」、「バイク」、「タクシー」の使用の合計が約6割、「自転車」、「徒歩」、公共交通機関（「電車」、「バス」）の使用の合計が約4割という結果でした。
  - ④ 建替え後の市役所本庁舎に求めるもの、重要視することについて5割を超える回答があったのは、ユニバーサルデザイン、防災拠点機能、事業コスト抑制に関する項目でした。
  - ⑤ 市役所本庁舎の建替えにあたり加えたい機能（施設）については、5割を超える回答があった項目はありませんでした。比較的回答が多かった機能は、喫茶コーナー、市民が語り憩える屋内スペース、観光インフォメーションコーナーとなりました。
- ※ このアンケートは、市役所本庁舎の現状の利用状況・課題等を把握するために行ったものであり、分庁舎供用前に調査したものとなっています。



## 2.2. 橿原市新本庁舎建設市民ワークショップ

### 2.2.1. ワークショップ実施概要

#### (1) 目的

本ワークショップ実施の目的は以下の通りです。

**目的：橿原市、橿原市民にとっての市役所の役割を皆様と共に考え、  
これからつくる新本庁舎のあり方を導くこと。**

- ◆ ナビプラザ、分庁舎を含めた3施設を一体的に市役所の機能と捉え、これからの市民生活やまちづくりに果たすべき役割と備えるべき機能を把握する。
- ◆ ナビプラザ、分庁舎、新本庁舎の役割と備えるべき機能を明確にする。
- ◆ 少人数のグループ形式で話し合うことで、ざっくばらんな雰囲気の中、皆様から沢山の意見をいただく。

#### (2) 全体構成

本ワークショップは全2回行いました。各回の討議テーマは以下の通りです。

第1回テーマ（平成30年3月24日）  
市役所の役割とは何か？

第2回テーマ（平成30年4月21日）  
新本庁舎の機能について話し合おう！



**これからつくる新本庁舎に必要な機能・役割を導く**

### 2.2.2. 第1回ワークショップの概要

◆ 当日の流れ

13:30 開会から、ワークショップの目的等を説明し、13:45~15:00 まで新本庁舎建設の背景や留意点、市民アンケート結果、庁舎の整備事例について事務局より説明させていただき、市民の方々との意見交換の場を設けました。

15:00 から約1時間半にわたって、5つのグループで2つのテーマを元に市民が新本庁舎に求めている機能や役割について討議いただきました。

◆ 討議の内容

下記のテーマを基に、2タームに分けて討議をしていただきました。  
機能や役割以外の意見については、それぞれのグループで別途集約しています。

表 2-1：討議テーマと討議内容

討議 テーマ	①市民のための市役所の役割について考える (30~45min)	②ナビプラザ・分庁舎の機能を踏まえた新本庁舎の 機能について考える(45~60min)
討議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所に求める役割について自由に意見を聞く時間を設けました。</li> <li>頂いた意見は、基本的に付箋に書いて残して頂き、なぜその役割が必要と考えるかについて議論を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは1ターム目で聞き取った意見を、機能・役割の視点から分類しました。</li> <li>次に、ナビプラザと分庁舎の機能・役割について情報を共有し、3施設を市役所と捉えながら新本庁舎に求められる機能・役割について議論を行いました。</li> </ul>

◆ 参加人数とグループ分け

H30年2月より、市のホームページ及び広報誌にて公募を行ったところ、29名のご応募をいただきました。

当日は、その内27名の方々にご参加いただきました。

表 2-2：グループ分け

グループ	出席者
A	5名
B	6名
C	6名
D	5名
E	5名

### 2.2.3. 第1回ワークショップの実施結果

各グループで得られたご意見を、「新本庁舎建設について」と「ナビプラザ・分庁舎・新本庁舎の役割について」の2つの項目に分類しました。

意見の分類については、ワークショップ当日に各テーブルでまとめたものを使用しています。

## A グループの意見

### ●新本庁舎建設についてのご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
新本庁舎の建設に対して考えてほしいこと	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 将来人口に基づいた職員数にあった大きさにする</li><li>・ 新本庁舎に限らず、公共施設においてはニーズに合ったアクセス方法を考えてほしい</li><li>・ 今ある施設のニーズにあった交通手段の拡大を図ってほしい</li><li>・ 道路の整備を実施してほしい</li><li>・ 議会の中継を再開してほしい。例えば他の公共施設で視聴できるようにするなど</li><li>・ 分庁舎の展望台は観光情報案内が少ない。大和三山、三輪山等、市民は場所が分かるが、他府県から来た人にも分かるように情報案内をしてほしい</li><li>・ 若者世代が市政に関心を持ち、若者世代の活動を支援できる場にしてほしい</li><li>・ 市政に目が向かないのは自分の暮らしで手一杯のため。市民の暮らしをサポートできることで市政に関心が生まれる</li><li>・ HPを見やすくするなど無関心を無くすための仕組みを考えてほしい</li><li>・ 若者世代が関心を持てる場としてほしい</li><li>・ 3つめの市役所はもったいない</li><li>・ 分庁舎の土地にすべてまとめるべきである。一か所が使いやすい</li><li>・ 窓口を1つにするという事が公約だったのに何故分散するのか</li><li>・ 分庁舎内のホテルはいらない。ホテルを無くして市内に残っている窓口を持つてくるようにする。新本庁舎はそれからの話である</li></ul>

●ナビプラザ・分庁舎・新本庁舎の役割についてのご意見

役割の分類	ナビ プラザ	分 庁舎	本 庁舎	意見の概要・趣旨
防災について			✓	・防災機能は必要。物資などを設置できる大きな広いスペースを設ける。
			✓	・災害時に電気やガス等、熱源を確保できるようにする。
			✓	・物資を貯めておけるスペースが必要である。
			✓	・一階に議場を設置するなら、災害対応スペースと一体的なつくりにする。
市民交流 について		✓		・せっかくホテルが出来たのに、なぜ分庁舎の展望台に何も無いのか。
		✓		・分庁舎の観光案内が少ない。
	✓	✓	✓	・若者世代の活動を支える上で、活動の場の側には、子育て支援や預かり機能が必要。
市民サービス について	✓			・ナビプラザはトイレと切符売り場しか機能していない。
	✓			・ナビプラザの機能を増強する。ナビプラザの使い方がわからない。
		✓		・市民（お客様）が、その場でサービスを完結する仕組みにするべき。
		✓	✓	・市民が目的を伝えたら移動せずにすべて完結する仕組みを考えてほしい。
		✓	✓	・総合窓口を設置してほしい。
		✓	✓	・窓口を1つにしてほしい。
議場について			✓	・議場は多目的に使えるようにシンプルにしてほしい。
			✓	・議場の傍聴席及び傍聴席までのアクセスは、バリアフリーに配慮してほしい。
			✓	・市議会会場は1Fにパブリックビュー設備を作る。開かれた議会を簡潔に作ってほしい。
			✓	・議場の情報発信をしてほしい。
			✓	・傍聴席やトイレ等、市民に優しい議場としてほしい。
駐車駐輪ス ペースについて	✓			・ナビプラザの駐輪場がない。
	✓			・教室などをやるのであれば、自転車置き場を作ってほしい。

※✓は意見の対象となる施設を示す。

※灰色ハッチは3施設以外を対象とした意見を示す。

## Bグループの意見

### ●新本庁舎建設についてのご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
将来負担を軽減してほしい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中南和の中心である為に奈良県奈良市に変わる規模の施設にする</li> <li>・一つの施設に人を集約する</li> <li>・住みやすい街にする為、経費の掛からない施設にする</li> <li>・あまり施設にお金をかけないようにして建てること</li> <li>・建築は公正な入札にし、安く建てること</li> <li>・万葉ホールはすでに使用料が年間何億もかかっているため、新本庁舎はコストをかけずに建設する</li> <li>・現在から、今後の子供たちに税の負担をかけないようにする</li> <li>・市民皆が気軽に行けるようにするには、橿原市全域からのコミュニティバスが不可欠である</li> <li>・住んでよかったと思える市にしてほしい</li> <li>・3つも市施設はいらない。ナビプラザはいらないと思う。新本庁舎にすべてまとめたほうが良い</li> </ul>
人口増加の戦略が必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市、行政の評価は人口問題に総括される。人口増加の為の戦略的施設を設ける</li> <li>・少子高齢化が進むこの市へ少しでも転入者が増加できることを望む</li> </ul>
周辺の計画や特徴について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畝傍駅に天皇陛下の貴賓室がある。もったいない感じになっている</li> <li>・八木駅からの動線となる賑わいづくりを行ってほしい</li> <li>・無料利用できる施設が減っている。公民館は申請が必要。複数地域にまたがる、気軽に集まれる場があると良い</li> </ul>

●ナビプラザ・分庁舎・新本庁舎の役割についてのご意見

役割の分類	ナビプラザ	分庁舎	本庁舎	意見の概要・趣旨
市民交流の多目的な広場や機能	✓		✓	・ナビプラザにもドトールなどのカフェをつくる。
			✓	・市民広場を設ける。多機能的な用途とする。
			✓	・広場を防災時に使う。
			✓	・市民が集えるスペースにする。
			✓	・緑地を設け、フリーマーケットを開催する。
			✓	・畝傍駅の雰囲気を受けて、市民が集える様な広場にする。
利便施設の複合化			✓	・学習スペースを併設したカフェを作る。
			✓	・香久山体育館、曾我川体育館のように新本庁舎へもスポーツジムを設置する。
			✓	・道路渋滞が起きないように郵便局を国道165号、24号から遠ざける。
			✓	・保健センターから医師会を移設する
学習・教育の場			✓	・駅前の一等地に建てるので、一市民の利用できるものにする。例えば図書館を併設するなど。
			✓	・図書館は武雄市や蔦屋書店を参考に、民間の上手な利用法を考える。
			✓	・学習や会議ができる場所を設ける。
			✓	・何も無い橿原市なので、学校・学生を育てる、教育の補完できる空間を提供する。
アクセス性と利便性について		✓	✓	・分庁舎で不便な所を新本庁舎に活かしてほしい。
		✓	✓	・分庁舎と新本庁舎のアクセスをもっと良くする。
			✓	・行くための道（周辺道路）をもっと広げてほしい。
				・公共交通の使い方を考える。駅と庁舎とのバスのピストン輸送など。
				・新本庁舎前のアクセス整備は最優先。新しく建てるなら考慮すべき。
施設のデザイン性やまちとの一体感			✓	・八木駅から古い街をイメージした路地づくりをする。
			✓	・街の中がすっきり見えるように、余白を多くする。
議場について			✓	・議場は表からガラス張りで見えて多目的に使えるように。(絶対)
駐車駐輪スペース			✓	・有料駐車場とする。
			✓	・市民に負担のない様に駐輪場を。

※✓は意見の対象となる施設を示す。

※灰色ハッチは3施設以外を対象とした意見を示す。

## C グループの意見

### ●新本庁舎建設についてのご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
今ワークショップを行う意味とは？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも市民意見を聞く前に、場所が決まっていることが問題である</li> <li>・意見を聞く段階が遅い</li> <li>・原案は出来ていることが問題である</li> </ul>
もし新本庁舎を建てるのであれば	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が使いやすく、利用しやすく、そんな庁舎にするべき</li> <li>・新旧2か所は無駄である</li> <li>・全部を1か所にしてほしい</li> <li>・出来たら役所は1か所にまとめてほしい</li> <li>・1か所に集約。3箇所に分散ではなく集約してほしい</li> <li>・分庁舎の土地に全てまとめるべきである</li> <li>・2か所では時間の無駄がある。すべて回ると時間がかかりすぎる</li> <li>・新本庁舎に全ての分散している機能をまとめる</li> <li>・新本庁舎は規模の大きいものはいらない</li> </ul>
周辺の計画や特徴を踏まえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の計画とも合わせてアクセスを良くする</li> <li>・庁舎は色々な計画を踏まえて計画すべき</li> </ul>
市民サービスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元々も、分庁舎も、窓口サービスが良いと感じている</li> </ul>

●ナビプラザ・分庁舎・新本庁舎の役割についてのご意見

役割の分類	ナビ プラザ	分 庁舎	本 庁舎	意見の概要・趣旨
防災機能について				・防災の対応には備蓄・交通の改善が必要。 本当に新本庁舎で対応できるのか。
			✓	・防災トイレ機能が必要。
市民交流機能について			✓	・市民が利用できる会議室として開放してほしい。
			✓	・新本庁舎にも総合窓口を作る。
市民サービスや 案内の機能について	✓	✓	✓	・案内が必要。3つの位置、意味を明確にする。
	✓	✓	✓	・案内モニターを使う、3つの施設の利便性をUPさせる。
	✓	✓	✓	・窓口機能に対して分かりやすい案内をする。
	✓			・印刷機が使える。サロンは100人くらいで使っている。
	✓	✓		・サロン、市民協働としての機能は分庁舎にも欲しい。
アクセス性と利便性 について				・バスが主軸になり、市の中を網羅する。
				・コミュニティバスの利便性を上げる。誰でも利用しやすく。
				・前提として交通、アクセスを改善して、利用しやすくする。
	✓	✓	✓	・建物同士のアクセス、利便性を改善する。
	✓	✓	✓	・分散化より、集合できないか。建物を繋ぐ連絡橋を作る。
議場について			✓	・議場はガラス貼りで中が見えると良い。
				・市議の定数をもっと少なくすること。
			✓	・議場でイベントをして、ホール（議場）に市民が足を運ぶ きっかけにすれば、無駄が無くなる。
	✓	✓	✓	・議事のスケジュールをきちんと公開して傍聴しやすくする。
			✓	・見て聞くよりも利用する議場とする。
駐車駐輪スペース	✓			・バスの切符買いに行くが、車・自転車が停められない。
			✓	・場所が決まっているならコストを下げるのが重要。
建設のコストや施設規模			✓	・人が減ることを踏まえて計画する。
			✓	・市民が集まる場所は適切な大きさの中で作る。
			✓	・コストを減らしすぎても市民サービスが低下する。
			✓	・新本庁舎は極力コストを小さく。何かあった時に広場と して置いておく。

※✓は意見の対象となる施設を示す。

※灰色ハッチは3施設以外を対象とした意見を示す。



## D グループの意見

### ●新本庁舎建設についてのご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
新本庁舎の建設に対して考えてほしいこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所には市民が行かなくなっている。無駄な建物（庁舎）はいらない</li> <li>・新本庁舎完成時に分庁舎を廃止して、新本庁舎に全て集中させる。分庁舎は売却</li> <li>・耐震が心配なので、現位置の事務所、議場をすぐ移転する</li> <li>・現在の本庁舎は耐震性が無い。至急、建替えてください。</li> <li>・分庁舎が2月に完成しました。市民の来庁は分庁舎に多いため、次の新本庁舎には市民の来庁が少ない筈です。建設の際には無駄のない様にすべきです</li> <li>・新本庁舎を必ずしも防災拠点にする必要はない。別のところでも可能である</li> <li>・分庁舎について、まず点検と反省をしっかりとすることが大切。反省無くして、新しい良いものの発見はありません</li> </ul>
新本庁舎建設等のコストについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現有施設を有効利用する</li> <li>・新しく市有施設を建築すると、負債が増え、先の世代に負担を負わせることになる。人口減、少子化の問題を考えるべき</li> <li>・補助金も税金であると心得るべき</li> </ul>
新本庁舎の計画の決め方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新本庁舎案を市が提示して、住民投票を実施すべき</li> <li>・新本庁舎の場所は、現庁舎地にする必要はない。再検討を。(災害時などでも、車で行きやすい場所に)</li> <li>・新本庁舎は現位置にこだわらない。既設の万葉ホールを使用することも可能</li> <li>・議会で一度決まったとはいえ、場所を変更しても良い</li> </ul>
市民の利用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が年に1-2回であれば、分庁舎だけである程度用件は済む。コンビニ利用もある</li> <li>・分庁舎が建設されて、市民の用件、用事のほとんどは分庁舎で済む</li> </ul>

●ナビプラザ・分庁舎・新本庁舎の役割についてのご意見

役割の分類	ナビ プラザ	分 庁舎	本 庁舎	意見の概要・趣旨
防災について			✓	・大地震時に備え、大きなガラス窓は少ない建物にする。
			✓	・交通渋滞の心配が多いにあるので、災害時に機能しなくなるのではないか。
			✓	・災害時の避難所機能に利用できる庁舎にする。
			✓	・大災害時の防災・救助拠点にする庁舎が必要。(備蓄・救助機能も)
			✓	・防災拠点としてヘリポートも必要である。
			✓	・新本庁舎は防災・救援拠点機能を備えた庁舎にする。
市民交流			✓	・会議室があると良い。
			✓	・市の主人公である市民が集い、市議会傍聴など市政に参加しやすい庁舎にする。
学習・教育の場			✓	・小学生の居場所を作る。
			✓	・新本庁舎に、もしできるなら保育園を作ってください。
アクセス性、利便性	✓	✓	✓	・高齢化社会のため、市内全域にかかるコミュニティバスなど庁舎への交通手段の確保をする。
			✓	・新本庁舎ができると、国道を拡幅してくれるので、交通渋滞はマシになる。
議場について			✓	・議場周辺に市民交流スペースがあると良い。
			✓	・市政参加推進のため、市議会の傍聴がしやすく、席数・位置などに配慮したものに。
			✓	・他の用途にも使用できるように多様性のある議場とする。
			✓	・議会用、議場は1F、2Fに。また、議場のレイアウトは対面配置型にして下さい。
駐車駐輪スペース			✓	・多数の自転車を駐輪できる駐輪場が必要。

※✓は意見の対象となる施設を示す。

※灰色ハッチは3施設以外を対象とした意見を示す。

## E グループの意見

### ●新本庁舎建設についてのご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
周辺の交通事情について	<ul style="list-style-type: none"><li>・公共交通機関の存続を行ってほしい</li><li>・八木西口駅舎と周辺（出入口・広場）を整備してほしい</li><li>・資料に近鉄八木西口駅がない。八木西口駅には歴史が残っている</li><li>・八木西口駅は、歴史の今井町の唯一の玄関駅でもある。存続整備こそ必要。</li><li>・大和八木駅、八木西口駅からの道を確保する</li></ul>

●ナビプラザ・分庁舎・新本庁舎の役割についてのご意見

役割の分類	ナビプラザ	分庁舎	本庁舎	意見の概要・趣旨
防災について			✓	・倉庫がどこにあるのか分からない。新本庁舎にあると分かりやすい。
			✓	・緊急非常物資が大量に保管できる倉庫を設置する。
			✓	・防災の拠点となり、避難もできる場所があれば良い。
			✓	・周辺の地元住民向け避難所機能とする。
市民サービスや市民ギャラリーの設置		✓		・一部ネット申請できるものもあるが、範囲を広げてほしい。
		✓		・月に1回でもいいので、土曜か日曜に開庁してほしい。
		✓		・申請したものを待つ時間にくつろげるスペースが欲しい。
		✓		・もっと花や音楽にあふれたロビーにしてほしい。(ピココンサートなど)
		✓	✓	・各課窓口をシンプルに分かりやすくする。
観光ギャラリーの設置	✓			・地域で活躍している人や、地場産業の商品などの展示スペースとする。
	✓			・観光客目線の機能を強化する。
子育て世代・次世代			✓	・新本庁舎への親しみ存在感があってほしい。
	✓	✓	✓	・子育て世代の人たちも集えるような場所があったらいい。
	✓	✓		・サークルやボランティアが無料で利用できるスペースがあると嬉しい。
	✓	✓	✓	・小さな子どもや赤ちゃん連れで来庁した人のための一時託児できるスペースがあったら嬉しい。
アクセス性、利便性				・公共交通機関を存続させる。
				・八木西口駅からの利用しやすさを考慮する。
まちづくりの視点	✓	✓	✓	・市役所へのアクセス道路や広場を整備する。
			✓	・近鉄大和八木駅、近鉄八木西口駅からの道の確保と、どこからでも庁舎に入れるよう設計してほしい。(東西南北の360度)
景観・デザインについて			✓	・分庁舎とデザインを統一する。
			✓	・分庁舎の市役所部分と合わせて低層がよい。
			✓	・分庁舎はホテルと混成で3月にオープンしたが、せっかく取り組む現在地における新本庁舎は3階迄のデザイン・内装等は分庁舎のイメージをスライドした構想とする。
			✓	・今の庁舎は暗いので、明るい壁の庁舎にしてほしい。特に執務室。
バリアフリーについて			✓	・訪問者も職員も快適な空間にする。
			✓	・低層で借地等も含めた隣接土地を有効に、身障者・高齢者優先(専用)駐車場60台程度設置する。
		✓		・高齢者向けの専用駐車場を設置する。
議会への市民参画			✓	・エレベーターは待てないので、エスカレーターを設置する。
			✓	・議会の委員会室はとても狭いので、もっと広いスペースが欲しい。傍聴者も全員委員会室に入れる広さが欲しい。
			✓	・議会のインターネット視聴者が増加。議場が良く見れば議員もシャキッとす。
			✓	・プロジェクターなど充実した設備を設置する。
			✓	・議会の傍聴は、現在は4階まで階段で上がっている。足の悪い人たちは大変不自由なので、エレベーターを設置してほしい。
			✓	・現在の傍聴席が少ない。
		✓	・傍聴者はトイレに行くのに議場を越えないと行けない。ハード・動線に工夫が必要である。	

※✓は意見の対象となる施設を示す。

※灰色ハッチは3施設以外を対象とした意見を示す。

## 2.2.4. 第2回ワークショップの概要

### ◆ 当日の流れ

13:30に開会、ワークショップの目的等を説明し、13:40～14:00まで第1回ワークショップの結果の共有及び質問回答を実施しました。

その後、14:00から討議を進めて頂くためのテーマの説明、奈良県内他自治体の事例の共有の時間を設けました。

14:30から約1時間半にわたって、4つのグループで各4つのテーマについて討議頂き、討議の結果を新本庁舎計画敷地の図面にまとめました。

### ◆ 討議の内容

下記のテーマについて討議していただきました。

表 2-3 : 討議テーマと討議内容

	橿原市新庁舎基本構想の基本理念	第1回ワークショップから得られた視点	第2回ワークショップ討議テーマ
テーマの視点	安心・安全	視点① 防災機能や広場機能としての役割	防災拠点機能・広場機能の使い方
	協働 暮らし	視点② 市民が利活用できる公共施設の役割	市民協働・交流スペースの使い方
	橿原市らしさ まちづくり 環境配慮	視点③ 庁舎施設として必要な役割	橿原市のまちづくりや橿原らしさを考慮した使い方
		視点④ 議会機能としての役割	議会機能の役割・使い方

### ◆ 参加人数とグループ分け

H30年2月より、市のホームページ及び広報誌にて公募を行ったところ、29名のご応募をいただきました。

当日は、その内19名の方々にご参加いただきました。

表 2-4 : グループ分け

グループ	出席者
A	4名
B	4名+1名
C	2名(B, Eに移動)
D	5名
E	4名+1名

### 2.2.5. 第2回ワークショップの実施結果

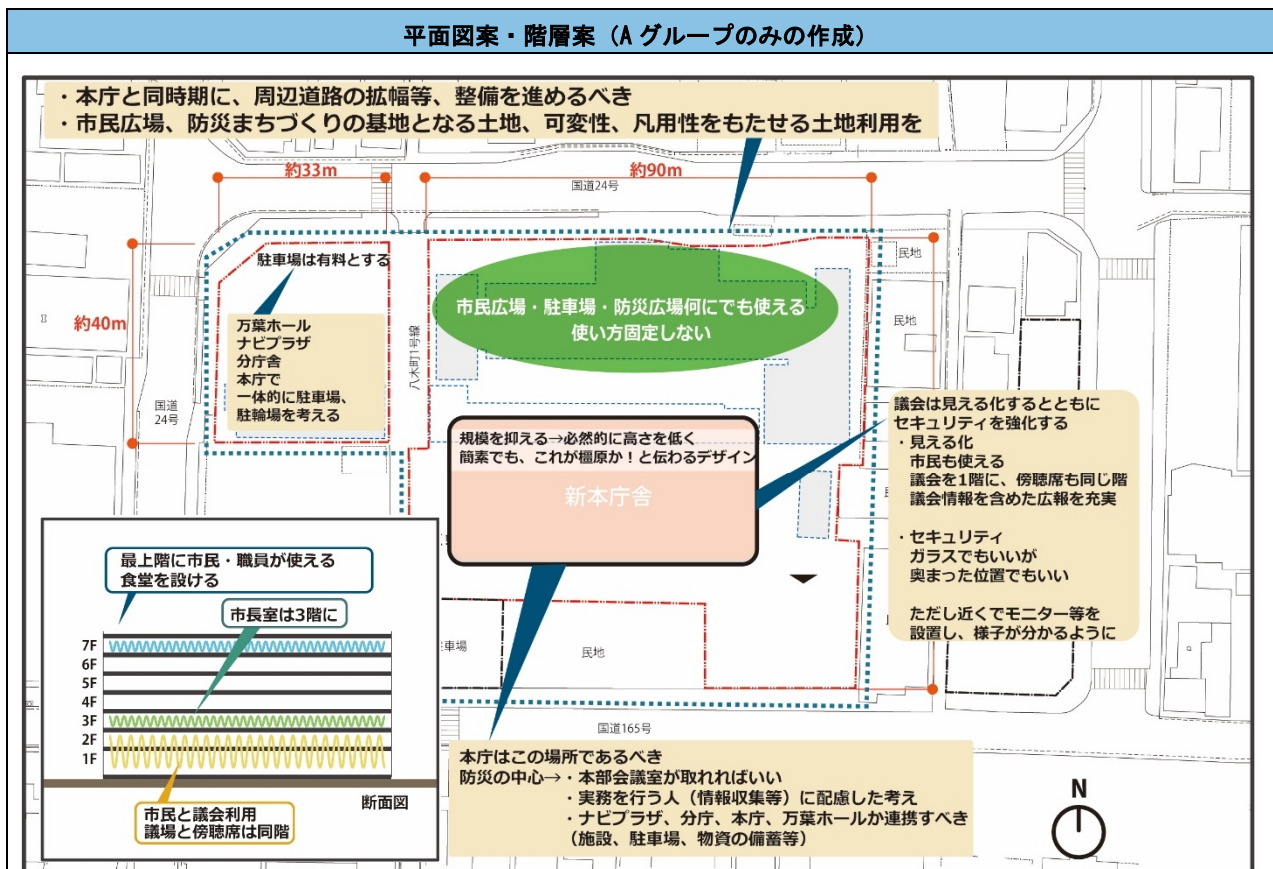
各グループで得られた結果は、4つのテーマに対するご意見と、それら意見から作成した図面としてまとめています。

## A グループの意見

### ● 図面を作成するまでの各テーマに関するご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
防災拠点機能 広場機能の使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務を行えるように配慮する（情報収集など）</li> <li>・防災本部のみあればよい</li> <li>・防災拠点とするのであればこの土地でなくてもよい</li> <li>・この場所を防災拠点化するならば、可変性を持たせる場を設けてはどうか</li> <li>・防災の中心、市民の安否確認ができるようにする</li> </ul>
市民協働 交流スペースの使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民共有広場をここへ移動させる。喫茶店などは不要</li> </ul>
橿原市のまちづくりや 橿原らしさを 考慮した使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外から執務等の見える化、広報の充実を図る</li> <li>・簡素でいいので、これが橿原か！とわかるデザインにする</li> <li>・橿原の基地としての、まちづくり・防災（非常時の生活の拠点となる）を考える</li> <li>・飛鳥シティリージョンや医大周辺まちづくり等との連携を図る</li> </ul>
議会機能の役割 使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万葉ホールの空きを使ってはどうか</li> <li>・会議室は万葉ホールを使えば良い。体育館は公民館ではなく小学校のものを使用する。</li> <li>・議会の放送をナビプラザで出してはどうか</li> <li>・セキュリティを確保した上で、議会の見える化を実施する</li> <li>・議会は2階までとし、傍聴席は議会と同じ階に設ける</li> </ul>
その他・全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設規模を抑えると、必然的に建物高さが低くなる</li> <li>・周辺道路を考えるべき</li> <li>・新本庁舎と同時期に周辺道路を改良すべき</li> <li>・駐車場を有料とし、分庁舎の駐車場と一体的に考える</li> </ul>

## ●意見をもとにグループで作成した図面



## 図面を作成するためにグループでまとめた意見

### ●テーマ

- ・新本庁舎の整備と合わせ、周辺道路の拡幅や整備を進める
- ・市民広場、防災まちづくりの基地となる土地、可変性、汎用性を持たせる土地利用とする

### ●各機能の使い方・配置等

#### (防災・広場・駐車場)

- ・市民広場は駐車場、防災広場と兼用し、使い方を固定しない
- ・敷地の北側に配置
- ・西館の敷地は有料駐車場とし、市役所機能をもつ施設に対して一体的に利用できるようにする

#### (施設の使い方)

- ・規模を抑えて、高さも低くする
- ・簡素であるが、これが樫原か！と伝わるデザインにするべき
- ・防災の中心として現敷地に建設すべき
- ・ナビプラザ、分庁舎、新本庁舎、万葉ホールでつながりを持った活用をすべき

#### (議会機能)

- ・議会は見える化を図る
- ・市民も使えるように1階に配置し、傍聴席を同じ階にする
- ・配置は奥まった位置でも良い
- ・ガラス張りでも良いがセキュリティに配慮し、モニター等を設置し議会の様子がわかるようにする

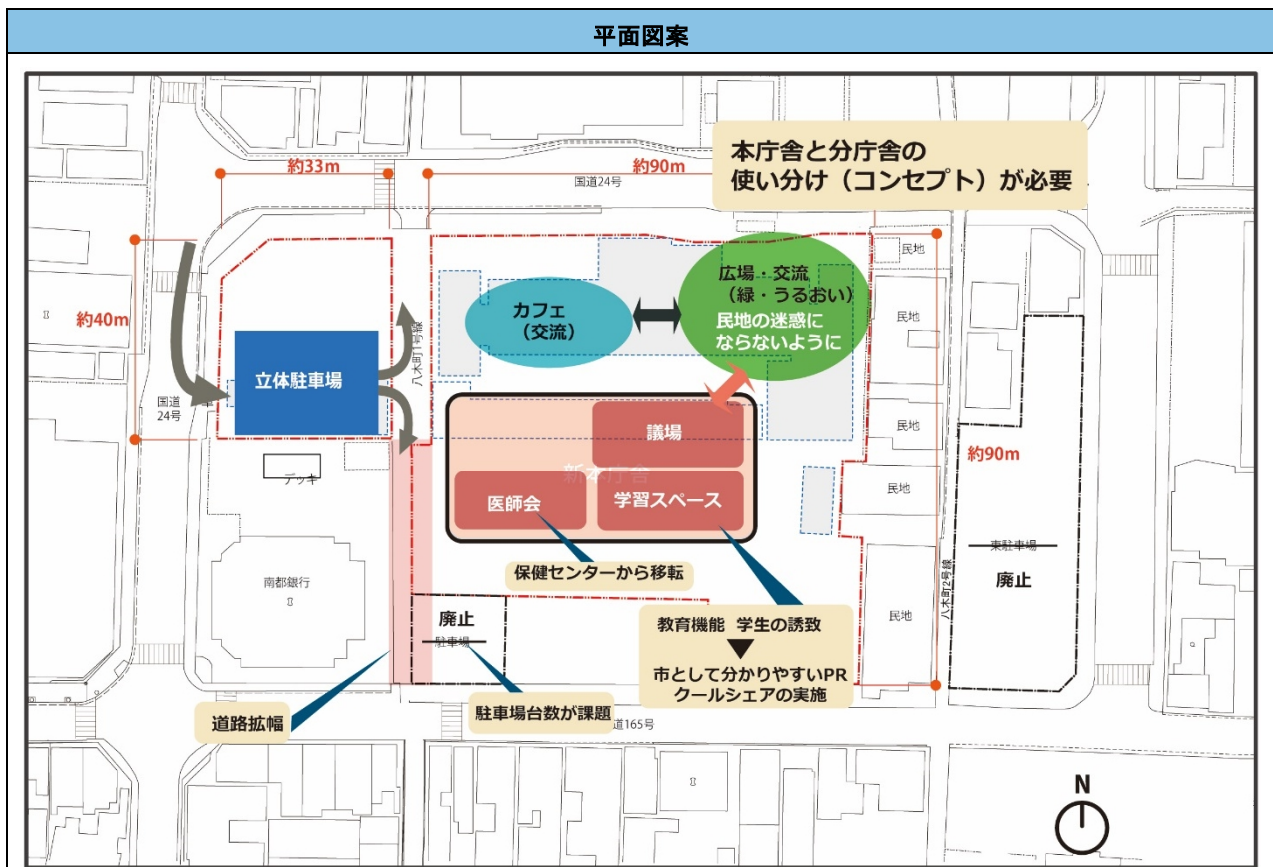
## B グループの意見

### ●意見をもとにグループで作成した図面

意見の分類	意見の概要・趣旨
<p style="text-align: center;"><b>防災拠点機能 広場機能の使い方</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災はテーマの中でも重要度が低い</li> <li>・防災機能を新本庁舎の敷地で全て行うのは難しい</li> <li>・そもそも防災拠点機能(住民が避難する場)が成立する立地ではない</li> <li>・東駐車場に備蓄倉庫を設ける</li> <li>・防災拠点として避難場所を作るのならば、もっと分散し、安い土地へ移動すべき</li> <li>・役割による施設の使い分けをはっきりさせる。防災は新本庁舎に必要な</li> <li>・窓口は無いが、周囲に人は集まる立地。周辺地域の駐車場拠点とする</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>市民協働 交流スペースの使い方</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜も土日もあけられる機能にすべき、イベントで使用する</li> <li>・交流スペースは時間関係なく使うようにすべき、そのために公民館・図書館のように施設管理者を置く</li> <li>・緑を充実させる</li> <li>・周辺に住宅がある土地のため、広場を作ったら子供の声がうるさいといわれるかもしれない</li> <li>・ランドスケープデザインを充実させる</li> <li>・学習の場として学生でも利用できる場とする</li> <li>・市民・若者に、まちづくりをする協働の場にする</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>檀原市のまちづくりや 檀原らしさを 考慮した使い方</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育のまちとするために、交流スペースを設ける</li> <li>・檀原を伝える場、PRする場とする</li> <li>・風通し良く、意見が自由に言える自治体に変えていく</li> <li>・そんなに特徴のある町ではない</li> <li>・らしさに縛られず自由な発想が必要である</li> <li>・国の始まりを檀原市の特徴とするのであれば、実際に国を変える人材育成を行う場とするべき、それが檀原らしさになる</li> <li>・幼いころから政治に参加できる教育をしていくべき</li> <li>・にぎわい広場の拠点として、緑を豊富にすることで檀原らしさを新しくつくる</li> <li>・大和八木駅、八木西口駅をアーケードで繋げる</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>議会機能の役割 使い方</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会は1階、広場と一体的に活用できるようにする</li> <li>・議場を分庁舎の屋内交流スペースに入れる</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>その他・全体</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちおこしのリーダー求む</li> <li>・土日、休日の診療、医師会を入れる。夜間も対応していく様にする</li> <li>・まちの中心(大和八木駅側)の方向が正面になる土地である</li> <li>・南都銀行や郵便局の土地まで新本庁舎敷地を拡幅する</li> <li>・借地で駐車場はいるのか、お金がもったいない</li> <li>・可能な限り借金はしない、借地は買うべき</li> </ul>



●意見をもとにグループで作成した図面



図面を作成するためにグループでまとめた意見

● テーマ

- ・ 新本庁舎と分庁舎の使い分けが必要である
- ・ 使い分けに関するはっきりとしたコンセプトを決める

● 各機能の使い方・配置等

(防災・広場・駐車場)

- ・ 広場、交流スペースは緑やうらおいのある場所にし、カフェ等を設置し交流の場とする
- ・ ただし、隣接している民地の迷惑にならないように配慮する
- ・ 借地である駐車場は廃止し、西館の敷地に立体駐車場を建設し、自動車を一か所に集めることで、道路の流れを整理する
- ・ 合わせて八木町1号線の道路は拡幅する

(施設の使い方)

- ・ 学習スペースを1階に配置し、教育機能を持たせ学生の誘致を実施する
- ・ 人が集まる場所を、市としてわかりやすいPRの場とする
- ・ 医師会を保健センターから新本庁舎に配置し、夜間診療などを利用しやすくする

(議会機能)

- ・ 議会は1階広場側に配置し、交流広場との一体的な利用を行う
- ・ 市民誰もが興味を持てる議会づくりとする
- ・ 学習スペースと合わせ、幼いころから市政に関心を持てるようにする

## D グループの意見

### ●図面を作成するまでの各テーマに関するご意見

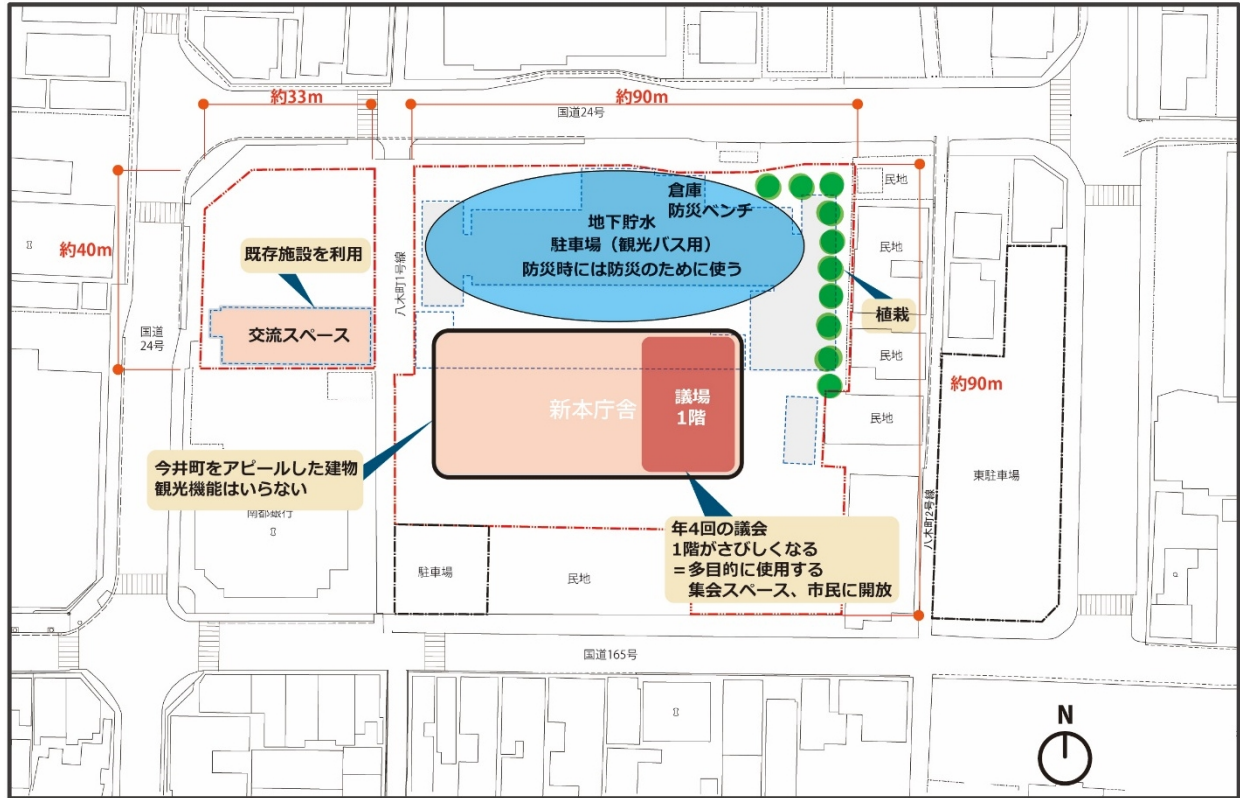
意見の分類	意見の概要・趣旨
<p style="text-align: center;"><b>防災拠点機能 広場機能の使い方</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災拠点として警察・消防を含めた災害本部機能を確立しておく</li> <li>・ 新本庁舎に（別棟）食糧・毛布等の備蓄倉庫を作る</li> <li>・ 自家発電機器を設置しておく・毛布等や飲料は1週間分ほど備えておく</li> <li>・ 防災広場として五井町処理場用地を利用してください</li> <li>・ 防災拠点は1箇所だけでなく、数か所にしてください</li> <li>・ 防災拠点には広い場所が必要なので別の場所に設ける</li> <li>・ カマドベンチ・パーゴラ・マンホールトイレは地域の公園に設置した方が良い</li> <li>・ 防災備蓄倉庫は各地域に設置すべき（新本庁舎から遠い住民への運搬が困難と思われる）</li> <li>・ 市の市街地中心部に防災広場は不要。防災機能を新本庁舎に置くだけでいい</li> <li>・ 観光バスの駐車場にする、防災時は防災広場として使用する</li> <li>・ 防災拠点は市役所に置く。地域にも災害時の食料その他は備蓄できている</li> <li>・ 太陽光発電を導入すべき</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>市民協働 交流スペースの使い方</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流スペースはすでにナビプラザがあるので必要ない</li> <li>・ 交流スペースはすでに機能しているので必要ない</li> <li>・ 新本庁舎の中に子育て世代が集まれる場としてコンビニとカフェを作る</li> <li>・ 市民協働、交流スペースはナビプラザにあるので有効活用すべき</li> <li>・ カフェ施設はナビプラザにしてください。新本庁舎には必要ない</li> <li>・ 公文書館機能があればよい</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>檀原市のまちづくりや 檀原らしさを 考慮した使い方</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店街を自動車が行く現状で「景観・賑わいの歩行者空間」を語るの難しい</li> <li>・ 都市計画を抜本的に再検討すべき</li> <li>・ 今井町の観光を進めてほしい、庁舎と今井町との関連を持たせてほしい</li> <li>・ 観光で分庁舎を建築したのだから新本庁舎はコンパクトにする</li> <li>・ 檀原の知名度が低い、アピールが必要、観光機能のアピールが少ない</li> <li>・ 八木から新宮行きの日本一長い路線バスなど、檀原市を観光拠点とした取り組みをする</li> <li>・ 八木からは関空の直行バスが出ていることから、海外からの観光客や宿泊者を増やすために宣伝が必要である</li> <li>・ 檀原らしさは別に必要とは思っていない、建物は建築にも管理にも費用をかけない</li> <li>・ 高野山、吉野山、名古屋、京都に拠点をアピールする</li> <li>・ トイレは一般に広く利用してもらう</li> </ul>

● 図面を作成するまでの各テーマに関するご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
<p><b>議会機能の役割 使い方</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議場は、1階に他の使用方法ができるようにする</li> <li>・ 庁舎を日頃から利用していると議場に足を運ぶようになる→意識が変化→多目的な活用</li> <li>・ 議会を土日開催とし、市民が参加・傍聴しやすくする</li> <li>・ 議場を1階につくることで、新本庁舎のメインとなる。また、年4回しか開催されない議会ではスペースとして無駄が生じるため、中高生や子どもによる議会を開く</li> <li>・ 議会への市民参画のため1階にしてほしい</li> <li>・ 市民が議会に関心をもつようにPRしてほしい</li> <li>・ 議会への入り口を広く、たくさんの人が参加できるように1階に設置する</li> <li>・ 傍聴席を大幅に増やす設計にして市民が傍聴しやすいようにすべき</li> <li>・ 議員と市民が話せるスペースを設けてほしい</li> </ul>
<p><b>その他・全体</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 喫煙場所を庁舎の外に作らないでもらいたい（庁舎内に密室型なら可）</li> <li>・ 分庁舎はいらない、新本庁舎にまとめる</li> <li>・ 新本庁舎を建てて、分庁舎を一緒にしてください（分庁舎は貸す）</li> <li>・ ナビプラザ、分庁舎、新本庁舎に全てまとめるのが市民に利便性あり</li> </ul>

●意見をもとにグループで作成した図面

平面図案



図面を作成するためにグループでまとめた意見

●各機能の使い方・配置等

(防災・広場・駐車場)

- ・地下貯水機能を持った広場
- ・広場は観光バス用の駐車場として利用する
- ・災害時は防災広場として利用する
- ・民地側には植栽を設ける

(施設の使い方)

- ・今井町をアピールした建物とする
- ・公文書館を設ける
- ・観光機能はிரない
- ・西館は既存のまま利用し、交流スペースとして活用する

(議会機能)

- ・議場は1階に配置する
- ・ただし、議会は年4回のみなので、多目的に利用できるスペースとする
- ・例えば、集会スペースなどとし、市民に開放する

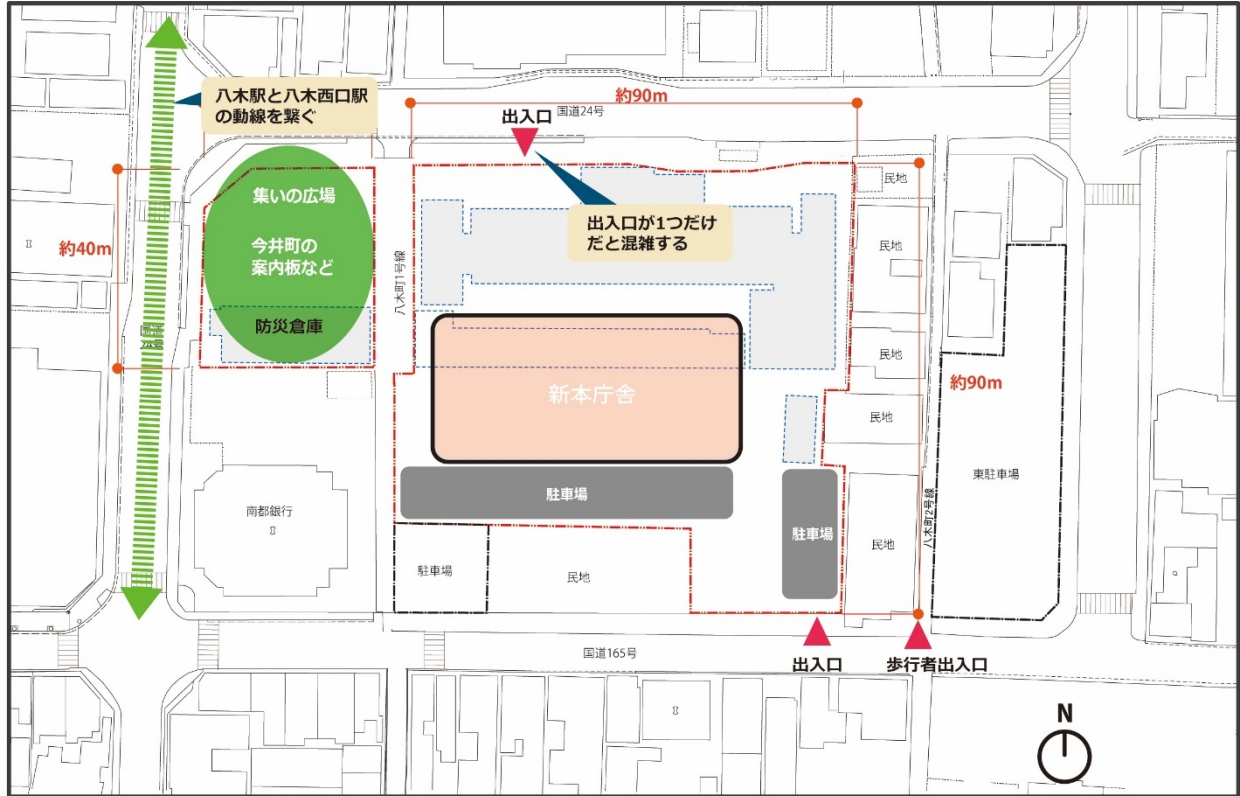
## E グループの意見

### ● 図面を作成するまでの各テーマに関するご意見

意見の分類	意見の概要・趣旨
防災拠点機能 広場機能の使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災倉庫は景観に配慮したデザインとする</li> <li>・ 炊出し等のイベントを実施する</li> <li>・ 出入口が1つだけだと混雑する</li> <li>・ 市民が利用可能な調理実習ができるキッチンを設け、災害時にも利用できるようにする</li> <li>・ 建物をコの字型にして中庭を囲われた安心感のある防災広場にする</li> </ul>
市民協働 交流スペースの使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 室内の市民用スペースは分庁舎にあるのでいらない</li> <li>・ 庁舎のデザインが優れていれば広場に人が集まる</li> <li>・ 市の女性が働きやすいよう、保育園、スーパー、売店を入れる</li> <li>・ 今井町の案内図などを設置する</li> <li>・ 大和八木駅・八木西口駅の動線を繋ぐ場所とする</li> <li>・ 売店・カフェ・喫茶を設置することで、広場を見ながらモーニングを食べれる</li> <li>・ 保育・託児機能の前に広場を設ける</li> </ul>
橿原市のまちづくりや 橿原らしさを 考慮した使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的な景観、今井町、日本国の始まり</li> <li>・ お金をかけるのではなく活用する</li> <li>・ まちを表現するデザインとする</li> <li>・ まちづくりの核にする</li> <li>・ 一般の人も入れるように市役所の敷居が高い感じをなくす</li> <li>・ 親しみやすい市役所＝橿原らしさである</li> <li>・ 医大と市役所と近鉄百貨店一体的に考えて、近鉄百貨店にも様々な機能を入れる</li> <li>・ 近鉄百貨店の敷地に県庁がくる</li> <li>・ 八木西口駅を今井町につなげた駅名（観光地の出入口）にする</li> <li>・ 観光客が散策できるようにする</li> <li>・ 民家と距離が近く圧迫感がある</li> </ul>
議会機能の役割・使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会は1階に設ける</li> </ul>
その他・全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AIなどで職員数が減ることから庁舎の規模を縮小できるのではないか</li> <li>・ 窓口機能がないなら7階でなくても低くできるのではないか</li> <li>・ 市本庁舎としての中身は庁舎機能のみが良い</li> <li>・ 分庁舎の駐車場、ナビプラザ利用時に使えないのは不便である</li> <li>・ 畝傍駅を再整備しきれいにする</li> <li>・ 新本庁舎に郵便局を入れる（駐車場を集約）</li> <li>・ 郵便局に駐車場がないため使いにくい</li> <li>・ デザインの専門家に考えてもらう</li> </ul>

●意見をもとにグループで作成した図面

平面図①案



図面を作成するためにグループでまとめた意見

●テーマ

- ・前提条件に基づき新本庁舎を配置した場合の案

●各機能の使い方・配置等

(防災・広場・駐車場)

- ・敷地の南側に駐車場を設置する
- ・敷地への出入口が一箇所だと混雑するため、複数箇所設ける
- ・西館のある敷地には集いの広場を配置し、今井町の観光案内などを行う
- ・合わせて大和八木駅と八木西口駅を繋ぐ動線を整備する

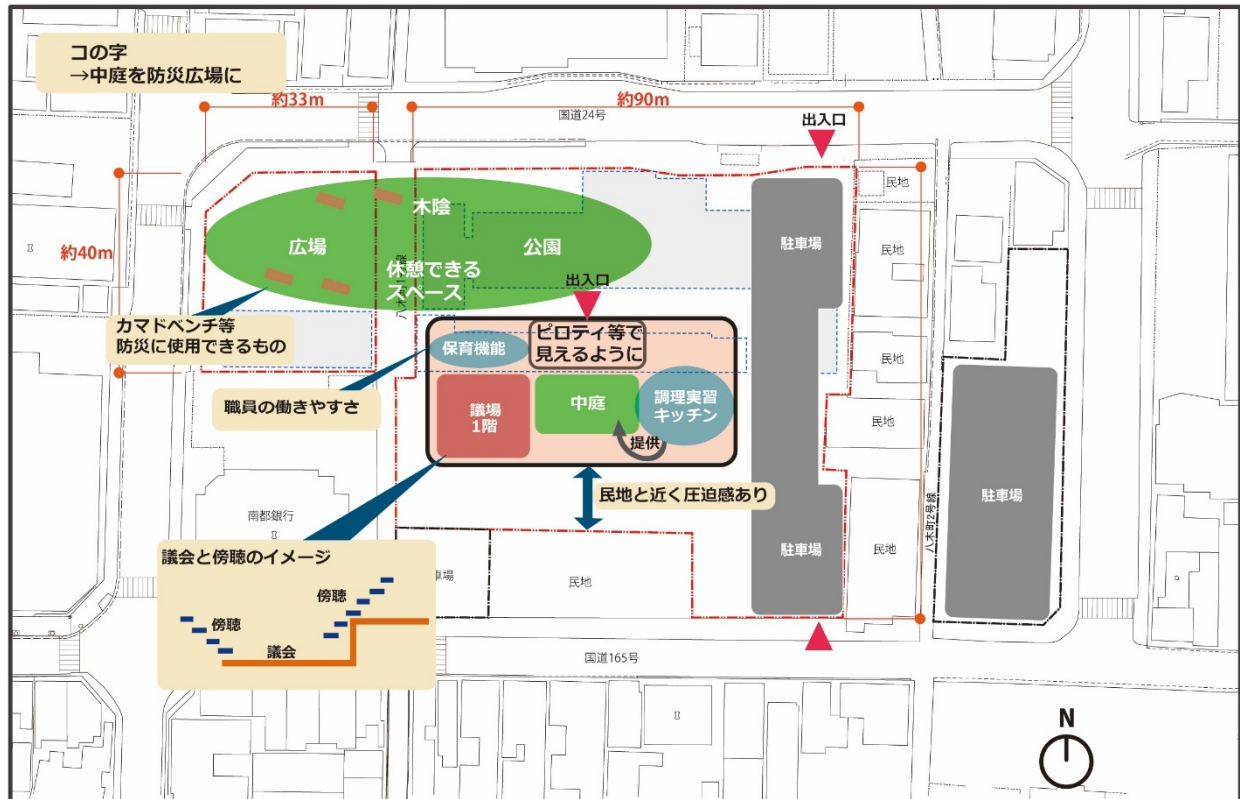
(施設の使い方)

- ・シンプルであるが、外観には樫原らしさが必要である。
- ・職員の働きやすさも考慮する

(施設の使い方) (議会機能)

- ・議会は1階とする

## 平面図②案



### 図面を作成するためにグループでまとめた意見

#### ● テーマ

- ・ 新本庁舎の中心に中庭を設け、防災広場とする

#### ● 各機能の使い方・配置等

##### (防災・広場・駐車場)

- ・ 広場は敷地の北側を活用し、公園として整備する
- ・ 木陰をつくりベンチを設置し休憩できるスペースとする
- ・ かまどベンチ等の防災に利用できる設備を設置する
- ・ 駐車場は東側に配置し車が通り抜けられるようにする

##### (施設の使い方)

- ・ 新本庁舎の中心に中庭を設け、囲われた防災広場として活用する
- ・ 調理実習用キッチンを設けた部屋を設置し、中庭と一体的に活用する
- ・ 保育機能を配置し、職員の働きやすさを向上させ、中庭とも一体的な活用をする
- ・ 新本庁舎のエントランスはピロティとして中庭とつなぐ
- ・ 南側の民地が近く圧迫感があるので配慮する

##### (議会機能)

- ・ 議場は1階に設置し、中庭に面する位置にする
- ・ 傍聴席は議場を見下ろす作りとする